

中米を中心とした国境・入国管理（元在外公館専門調査員：青木元作成・更新中）

番号 1 コスタリカ
La República(コスタリカ紙)(2020 年 1 月 22 日付) 「 Salud coordina con aerolíneas y Migración para detectar casos sospechosos de coronavirus tras brote en China 」
場所 URL https://www.larepublica.net/noticia/salud-coordina-con-aerolineas-y-migracion-para-detectar-casos-sospechosos-de-coronavirus-tras-brote-en-china
要約 米国ワシントンにおける新型コロナウイルス感染者の確認及びメキシコでの感染拡大の可能性が調査されていることなどを受け、コスタリカで航空便を運航する航空会社及び移民局(DGME)は、コスタリカ入国前に中国に滞在し、呼吸困難、発熱、喉の痛みや咳といった症状を伴う旅客に対し、直近の滞在地の詳細確認や、検査のためのサンプル採取を実施することを明らかにした。 また、感染者が確認されている場所からの帰国者を対象に、帰国後 14 日間に発症した場合には当局に通知する旨を記載したパンフレットを配布する予定。 さらに、今後中国への渡航予定者に対しては、武漢の位置する湖北省や、動物を取り扱う市場への訪問を控え、食べ物も熱を入れたものを接種するよう呼びかけた。

番号 2 コスタリカ
amPRENSA(地域国際紙)(2020 年 2 月 1 日付) 「 Costa Rica sin protocolo para revisar a viajeros procedentes de China 」
場所 URL https://amprensa.com/2020/02/costa-rica-sin-protocolo-para-revisar-a-viajeros-procedentes-de-china/
要約 コスタリカ移民局(DGME)によると、2020 年 1 月 1 日以降に同国に入国した中国人の数は 1,134 名。しかし、これらの人々を対象に新型コロナウイルスへの感染を確認するための検査は実施されなかった。 現時点でコスタリカ保健省は、移民局や空港運営会社などと共に対応するためのガイドラインは設けていることを強調。ダニエル・サラス保健大臣は、既に米国とグアテマラが入国直前の 15 日間に中国に滞在していた全ての人々の入国を禁止していることに言及しつつも、現時点(2020 年 2 月 1 日)でコスタリカにおいて同様の措置を講じるつもりはないことを明らかにした。

番号 3 コスタリカ
Monumental(コスタリカ紙)(2020 年 2 月 2 日付) 「Costa Rica no contempla prohibir ingreso de personas procedentes de China por riesgo de coronavirus」
場所 URL https://www.monumental.co.cr/2020/02/02/costa-rica-no-contempla-prohibir-ingreso-de-personas-procedentes-de-china-por-riesgo-de-coronavirus/
要約 エルサルバドルとグアテマラは、新型コロナウイルスの感染拡大の防止策の一環として、2020 年 1 月 31 日に、中国からの入国を禁止する措置を発表。しかし、2 月 2 日時点でコスタリカのダニエル・サラス保健大臣は、政府として感染者への対応に向けた準備は整えつつも、現時点で前述の 2 国のような措置は世界保健機関(WHO)が推奨していないことから、追従しないことを表明した。

番号 4 コスタリカ
La República(コスタリカ紙)(2020 年 2 月 4 日付) 「Costa Rica no restringirá el ingreso de viajeros provenientes de China」
場所 URL https://www.larepublica.net/noticia/costa-rica-no-restringira-el-ingreso-de-viajeros-provenientes-de-china
要約 コスタリカ政府は、他国から持ち込まれた新型コロナウイルスの感染が、現時点では国内で拡大していないことや、その致死率の低さ、そして従来から中国からの大量の入国者や直行便がないことなどから、2 月 4 日時点で米国や同じ中米国のエルサルバドルにおいて実施されているような中国からの入国制限を実施する予定がないことを表明した。同時に、同国政府は、同国発着の航空便を取り扱う航空会社や国際空港と、感染の疑いのある乗客の特定と問診の実施などの対応に関するガイドラインを既に共有していることも明らかにした。

番号 5 コスタリカ
La Nación(コスタリカ紙)(2020 年 2 月 8 日付) 「Aeropuerto Juan Santamaría activaría protocolo desde el aire si detecta un pasajero con síntomas sospechosos del nuevo coronavirus en un vuelo hacia Costa Rica」
場所 URL https://www.nacion.com/ciencia/salud/aeropuerto-juan-santamaria-activaria-protocolo/4HDQBJDXR5CTXE5GMUKODFIA6I/story/

要約

フアン・サンタマリア国際空港(サンホセ国際空港)は、サンホセに向かう航空便の機内において新型コロナウイルス感染の疑いのある乗客が確認された場合、政府のもうけたガイドラインに則り、感染の疑いのある乗客を到着後にその他の乗客から隔離させるなどの措置を講じる予定であるとした。

もしも到着前の機内において、直近の 14 日間に中国に滞在又は感染者との接触があり、そのうえで自身も新型コロナウイルス感染に伴う典型的な咳、発熱、呼吸困難などの症状をうったえる乗客が確認された場合、事前に空港管制室にその旨を連絡。機内でスペースがあれば他の乗客から隔離し、着陸後は一般ターミナルから離れた場所に機体を移動。感染の疑いのある乗客は、到着後もその他の乗客からは距離を置き、保健当局(保健省及びコスタリカ社会保険庁)職員による詳細な検査が実施される予定。機内で付近に着席していた旅客も、入国後 14 日間の隔離と経過観察の対象となる予定。

番号 6 コスタリカ

Portal Portuario(チリ海運業界紙)(2020 年 2 月 22 日付)

「**Puerto de Costa Rica establece protocolo para evitar ingreso de Covid-19**」

場所 URL

<https://portalportuario.cl/puerto-de-costa-rica-establece-protocolo-para-evitar-ingreso-de-covid-19/>

要約

コスタリカ太平洋港湾公社(INCOP)は、同国の太平洋岸の最大の商業港であるカルデラ港含む主要港において、新型コロナウイルスの厳格な感染予防ガイドラインを設けることを表明。カルデラ港には 2 月 22 日時点で、月に平均 45 隻の貨物船などが寄港するが、そのうち 8 隻がアジア諸国からで、同様に感染拡大が懸念されている北米(メキシコ含む)を経由する輸送物資を多く取り扱っていることがガイドライン設定の主な理由として挙げられた。

今後、太平洋岸の主要港に入国する船は、地元衛生当局が求める通常の衛生管理報告に加え、疑いのあるケースへの対応策や既に確認された例の報告が義務付けられる。それらの報告内では、直近 2 週間の滞在地や、毎日の船員の健康状態、船員が船外に出るための条件の参考例などの明記が必要。

さらに、カルデラ港湾当局(la Sociedad Portuaria de Caldera)は、港湾労働者に対する新型コロナウイルス感染の際の主な症状や予防策に関する認識の徹底だけでなく、一連の対策の中で感染が発覚した場合に該当する船の船長、その運行会社、コスタリカ保健省、コスタリカ公共事業・運輸省などへの迅速な情報共有体制と、その後のあらゆる対応を講じるための体制を整備することも発表した。

番号 7 コスタリカ
LaRepública(コスタリカ紙)(2020 年 2 月 26 日付) 「Casos sospechosos de coronavirus se les consultará si visitaron estos cuatro países」
場所 URL https://www.larepublica.net/noticia/casos-sospechosos-de-coronavirus-se-les-consultar-a-si-visitaron-estos-cuatro-paises
要約 コスタリカ入国時に、38 度以上の発熱、喉の痛み、呼吸困難などの新型コロナウイルスに感染した際の典型症状が確認された場合、直近の 14 日間にこれまでの中国だけでなく、2 月 25 日以降は韓国、イラン、イタリアのいずれかに滞在していたかも確認することになった。

番号 8 コスタリカ
La Nación(コスタリカ紙)(2020 年 2 月 28 日付) 「Hay 34 ticos procedentes de Corea del Sur en monitoreo preventivo por nuevo coronavirus; ninguno con síntomas」
場所 URL https://www.nacion.com/el-pais/salud/salud-monitorea-de-forma-preventiva-por-nuevo/HS5CPLIANZE3JOH23LGWYLTOWY/story/
要約 コスタリカの保健衛生当局は、2 月 17 日から 20 日にかけて、当時新型コロナウイルスの感染拡大が指摘されている韓国に滞在したコスタリカの合唱団員 34 名に関し、25 日の帰国後に 14 日間にわたる健康状態の経過観察が実施されていること、そして現時点(2 月 28 日)で発症者は確認されていないことを明らかにした。2 月 28 日時点で、韓国の他、中国、イラン、イタリアからの渡航者は、入国後に 14 日間の自主隔離と健康状態の経過観察が義務付けられている。同措置は 2 月 25 日から実施されている。

番号 9 エルサルバドル
Prensa Libre (グアテマラ紙)(2020 年 3 月 10 日付) 「El Salvador pedirá pasaporte a guatemaltecos como medida por el coronavirus」
場所 URL https://www.prensalibre.com/guatemala/comunitario/el-salvador-pedira-pasaporte-a-guatemaltecos-como-medida-por-el-coronavirus/
要約 3 月 10 日、エルサルバドル政府は、新型コロナウイルスの感染拡大対策の一環として、

グアテマラ人の入国の際に有効期限内のパスポートの提示を義務付けることを発表した。これまでエルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグアの中米 4 カ国間では、いずれかの国の国籍保有者は個人の身分証(Personal Identification Document)のみで出入国が可能だった。

ナジブ・ブケレ・エルサルバドル大統領の説明によると、グアテマラ人に対する同措置は、入国審査対象者が直前に特に感染拡大が著しい国に滞在していたか否かを確認するためとしている。一例としては、エルサルバドルは既に直近にスペインに滞在していた渡航者の入国を原則禁止している。

番号 10 エルサルバドル

El Litoral (アルゼンチン紙)(2020 年 3 月 11 日付)

「**Coronavirus: El Salvador declara cuarentena en todo su territorio**」

場所 URL

https://www.ellitoral.com/index.php/id_um/229567-coronavirus-el-salvador-declara-cuarentena-en-todo-su-territorio-cierre-de-fronteras-internacionales.html

要約

3 月 11 日、エルサルバドル政府は依然として国内で感染者は確認されていないものの、新型コロナウイルスの感染防止対策として、エルサルバドル人以外の入国を禁止(国境閉鎖)することを明らかにした(外交関係者などは例外)。

他方、国境をまたいだ物資輸送は継続させることも併せて発表した。現在、エルサルバドル国内では 56 名が隔離を実施中で、そのうち 32 名がスペインからの帰国者となっている。

同日(3 月 11 日)には、隣国ホンジュラスが国内で初となる感染者の確認を発表。また、同様にグアテマラも欧州からの渡航者(欧州人及び欧州滞在後に同国に向かう外国人)による入国禁止措置を発表した。欧州滞在後に帰国するグアテマラ人に関しては、帰国後の隔離が義務付けられる。

番号 11 グアテマラ

El Salvador.com(エルサルバドル紙)(2020 年 3 月 12 日付)

「**Guatemala prohíbe el ingreso de salvadoreños a su territorio ante riesgo por coronavirus**」

場所 URL

<https://www.elsalvador.com/noticias/internacional/coronavirus-pandemia-guatemala-prohibe-ingreso-salvadorenos/695232/2020/>

要約

3 月 12 日、グアテマラ政府は新型コロナウイルス感染拡大防止を理由に、エルサルバ

ドル人による入国を禁止することを発表した。これは前日の 11 日に、エルサルバドルのナジブ・ブケレ大統領が、同様の理由により全ての外国人の入国禁止を発表(それまでの入国禁止措置の対象国は中国、韓国、イラン、イタリア、スペイン、ドイツ及びフランス)したことを受けての対応。ただし、物資輸送関係者や外交関係者には例外措置が適用される予定。

番号 12 エルサルバドル

Infobae (地域国際紙：ロイター通信キャリー記事)(2020 年 3 月 13 日付)

「El Salvador habilita albergue y refuerza fronteras por coronavirus」

場所 URL

<https://www.infobae.com/america/agencias/2020/03/12/el-salvador-habilita-albergue-y-refuerza-fronteras-por-coronavirus/>

要約

3 月 13 日、エルサルバドル国内では、正確な数値は明らかにされていないものの、首都の国際空港含む複数の入国地点から入国した人々が、新型コロナウイルスへの感染を確認するための検査や、然るべき隔離を実施するために、当局の指定する施設に移送されている。

現時点では、推定数十名の対象者の中に、外国人や感染が確認された人々がいるかは直ちに判明しない。

移送先は、2013 年に設置された災害などの発生時を想定した収容規模 800 名を超える施設で、現在は当局により厳重に人の出入りが管理されている。

3 月 11 日にブケレ大統領は、30 日間の国レベルでの隔離措置(授業の中断、集会の制限、エルサルバドルに住民登録されていない外国人の入国禁止などを含む)の実施を発表していた。その後、警察や軍などの治安当局による国境監視体制が強化されている。

番号 13 ホンジュラス

El País(コスタリカ紙：Sputnik 通信キャリー記事)(2020 年 3 月 15 日付)

「Presidente de Honduras anuncia cierre de fronteras una semana por covid-19」

場所 URL

<https://www.elpais.cr/2020/03/15/presidente-de-honduras-anuncia-cierre-de-fronteras-una-semana-por-covid-19/>

要約

3 月 15 日、ホンジュラスのフアン・オーランド・エルナンデス大統領は、新型コロナウイルスの感染拡大防止策の一環として、翌 16 日から 1 週間の予定で同国の全ての国境を閉鎖することを発表した。同国では 3 月 11 日に国内では初となる感染者 2 名が確認され。翌 12 日から欧州、中国、韓国、イランからの訪問者の入国を制限していた。

同時に、現段階での最大の感染予防策として、国内のあらゆる機関や企業に対し大人数での活動の中止や、各個人による正しい情報の確認などを徹底するよう呼びかけた。

番号 14 パナマ

La Estrella de Panamá(パナマ紙)(2020 年 3 月 15 日付)

「**Gobierno prohíbe ingreso de extranjeros al país y ordena cierre de locales de diversión y comerciales, tras aumentar a 55 los casos de coronavirus**」

場所 URL

<https://www.laestrella.com.pa/nacional/200315/200316-gobierno-ordena-cierre-casinos-bares-cantinas-aumentar-55-numero-casos-coronavirus>

要約

3 月 15 日、パナマ政府は新型コロナウイルス感染防止対策として、17 日以降に国境を閉鎖することを明らかにした。15 日時点で国内では 55 名の感染が確認されている。

国境閉鎖期間中に入国を許可されるのはパナマ人及び同国での在留資格保有者のみとなり、これらの人々も帰国後の 14 日間の自主隔離が義務付けられる。

番号 15 グアテマラ

EFE 通信(2020 年 3 月 16 日付)

「**Guatemala cierra fronteras tras confirmar seis contagios y una muerte por COVID-19**」

場所 URL

<https://www.efc.com/efe/america/sociedad/guatemala-cierra-fronteras-tras-confirmar-seis-contagios-y-una-muerte-por-covid-19/20000013-4197293>

要約

3 月 16 日、グアテマラ政府は新型コロナウイルスの感染拡大防止策として 17 日以降の 15 日間の国境閉鎖措置を実施することを発表した。同国ではすでに新型コロナウイルスへの感染者 6 名と、それが原因の死亡者 1 名が確認されていた。また、同期間中に入国を許されるのはグアテマラ人及び外交関係者のみで、陸路での入国以外は認められず、入国後の自主隔離が義務化されることも併せて発表された。

グアテマラではすでに前の週から、一部の国(米国など)からの外国人の入国を禁止していた。

番号 16 コスタリカ

La República(コスタリカ紙)(2020 年 3 月 16 日付)

「**Gobierno declara Estado de Emergencia Nacional: hay restricción de ingreso al**

país」
場所 URL https://www.larepublica.net/noticia/gobierno-declara-estado-de-emergencia-nacional
要約 2020 年 3 月 16 日、コスタリカは非常事態宣言を発令。 現時点で発令に伴う入国制限の実施期間は 3 月 18 日の 23 時 59 分台から(つまり実質 3 月 19 日以降)4 月 12 日までの予定。同期間中は、コスタリカ国籍保有者又は在留資格保有者以外の入国を原則禁止。前述の入国可能な人々も、入国後に 14 日間の隔離の実施が義務付けられる。航空便の乗務員や、国境をまたぐ物資輸送に従事する人々には例外措置が適用へ。

番号 17 コスタリカ
La Teja(コスタリカ紙)(2020 年 3 月 17 日付) 「Coronavirus: Costa Rica refuerza la vigilancia en la frontera con Nicaragua」
場所 URL https://www.lateja.cr/nacional/coronavirus-costa-rica-refuerza-la-vigilancia-en/PK4TXNBD2VFUHHJAEKY4ZWFIV6I/story/
要約 2020 年 3 月 17 日、コスタリカ政府は新型コロナウイルス感染対策として、あらゆる治安当局との連携を通じた不法入国防止を含むニカラグアとの国境における監視強化を発表。これは 3 月 19 日から 4 月 12 日にかけて外国人(コスタリカでの在留資格保有者を除く)による入国を禁止するという、大統領令に則した措置。 キャンベル副大統領は、特に国境沿いの「死角」とされている地点に重点を置くことに言及。同監視強化は陸・海・空の全てにおいて実施される予定。

番号 18 コスタリカ
Semanario Universidad(コスタリカ紙)(2020 年 3 月 19 日付) 「Gobierno pide a residentes nicaragüenses no abandonar el país en los próximos días」
場所 URL https://semanariouniversidad.com/pais/gobierno-pide-a-residentes-nicaragüenses-no-abandonar-el-pais-en-los-proximos-dias/
要約 キャンベル・コスタリカ副大統領は、コスタリカ国内に定住しているニカラグア人住民に対し、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、聖週間(イースター)を含む今後数週間に、国境を越えた移動を控えるよう呼び掛けた。 両国間では、平常時でも平均して一日に 2,500 名から 3,000 名のニカラグア人の往来があ

るとされている。

番号 19 コスタリカ

Delfino(コスタリカ紙) (2020 年 3 月 21 日付)

「**Detenido un caso positivo de COVID-19 con orden sanitaria que intentó salir del país**」

場所 URL

<https://delfino.cr/2020/03/detenido-un-caso-positivo-de-covid-19-con-orden-sanitaria-que-intento-salir-del-pais>

要約

3 月 21 日、国内第 2 の都市であるリベリア市内の国際空港において、出国を試みようとしたコスタリカ人男性の出国が禁止された。同人物は事前に感染が確認されており、移民局の保管するデータベース上にその情報が既に掲載されていたことから、今回の対応につながった。移民局の情報によると、同人物は義務付けられている隔離の実施期間中だったことが明らかになっている。

刑法 277 条により、当局による規則に反した罪により、同人物は懲役 1 年から 3 年又は、50 日から 200 日分の罰金の支払いが課せられる。

番号 20 コスタリカ・ニカラグア

Confidencial(ニカラグア紙)2020 年 3 月 21 日付)

「**Costa Rica y Nicaragua acuerdan acciones conjuntas contra el covid-19**」

場所 URL

<https://confidencial.com.ni/costa-rica-y-nicaragua-acuerdan-acciones-conjuntas-contra-el-covid-19/>

要約

2020 年 3 月 21 日、コスタリカ及びニカラグア政府関係者(両国の外務大臣、保健大臣、公安大臣など)は、両国間の主要な出入国管理ポイントであるペニャス・ブランカスにおいて、今後国境付近において新型コロナウイルス感染者が確認された場合の両国保健当局間の情報共有メカニズムの導入や、国境沿いの違法な出入国ルート of 摘発を目的とした治安当局間の協力体制の確立などに向けた技術者協議を実施した。

その場で、両国間の「物資」の輸送に関しては、今般の感染症に「伴う負の影響が最小となるよう協力していくことで一致した。

3 月 21 日時点で、コスタリカ国内では非常事態宣言が発令中であり、これまでに確認された感染者数は 113 名に達している。それに対し、ニカラグアは依然として「警戒段階」と位置づけ、感染者数も 2 名(同月の 18 日及び 20 日に確認と同国政府は発表)と、両国間の感染状況に大きな差異がある。

番号 21 コスタリカ
Semanario Universidad(コスタリカ紙)(2020 年 3 月 23 日付) 「 Abandonar el país implicará la pérdida de residencia para los extranjeros en Costa Rica 」
場所 URL https://semanariouniversidad.com/pais/abandonar-el-pais-implicara-la-perdida-de-residencia-para-los-extranjeros-en-costa-rica/
要約 2020 年 3 月 23 日、コスタリカ政府は、新型コロナウイルス感染拡大防止策の一環として、今後数週間、コスタリカでの在留資格を保有する外国人が同国から出国した場合、自動的にその資格を無効化する策を講じることを発表した。 特に聖週間(イースター)を目前に、国際的な移動による新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐのが目的。

番号 22 コスタリカ
El Pais(コスタリカ紙)(2020 年 3 月 23 日付) 「 Cuerpos policiales impiden ingreso de 511 extranjeros que pretendían evadir cierre de fronteras 」
場所 URL https://www.elpais.cr/2020/03/23/cuerpos-policiales-impiden-ingreso-de-511-extranjeros-que-pretendian-evadir-cierre-de-fronteras/
要約 コスタリカ政府は、19 日の非常事態宣言発令に伴う外国人による入国禁止措置の開始以降、治安当局の働きにより 22 日までに、北部の国境地帯において合計 511 名(うち北部国境において 492 名、南部国境において 19 名)の外国人による不法入国を摘発したことを発表。その大半が国境の死角からの不法入国を試みていた。

番号 23 コスタリカ・ニカラグア・パナマ
La Nación(コスタリカ紙)(2020 年 3 月 24 日付) 「 Autoridades refuerzan vigilancia en frontera norte: 46 nicaragüenses detenidos en condición migratoria irregular 」
場所 URL https://www.nacion.com/sucesos/seguridad/autoridades-refuerzan-vigilancia-en-frontera-norte/NL3BBOZLXVDN6LOAZLNSONWA/story/
要約 2020 年 3 月 24 日未明(午前 5 時ごろ)、コスタリカ治安当局は、新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として実施中の国境管理強化のもと、ニカラグアとの主要な出入国地点

である Los Chiles 付近において、46 名のニカラグア人を荷台に乗せて違法にコスタリカに入国させようとしたトラックを摘発したことを発表。

同日(24 日)には、パナマ当局が、コスタリカとの国境において約 2,600 名のアジア又はアフリカ系移民が滞留し、保護の可能な許容範囲の限界に達しているとして、カウンターパートであるコスタリカの当局への引き渡しを実施した。これらの移民は今後、警察や保健衛生当局の管理のもと、コスタリカの北部国境までバスで移送される予定。これらの移民はコスタリカへの入国及び同国内での移動時に健康証明書の携行が必須で、新型コロナウイルスの感染が疑われる症状を伴う人々が確認された場合、移送の対象外となる。

番号 24 コスタリカ
El País(コスタリカ紙)(2020 年 3 月 26 日付) 「Costa Rica ha rechazado 958 extranjeros en frontera con Nicaragua」
場所 URL https://www.elpais.cr/2020/03/26/costa-rica-ha-rechazado-958-extranjeros-en-frontera-con-nicaragua/
要約 コスタリカ政府によると、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環としての国境沿いの警備強化を通じて、3 月 26 日までの 1 週間に、コスタリカへの入国を拒否された外国人は 958 名に達した。政府としては、国民を感染から守るための適切な措置との見解を示す。

番号 25 コスタリカ
Ameliarueda(地域国際紙)(2020 年 4 月 2 日付) 「Costa Rica cierra fronteras a migrantes extracontinentales」
場所 URL https://www.ameliarueda.com/nota/costa-rica-cierra-fronteras-a-migrantes-extracontinentales
要約 コスタリカ政府は新型コロナウイルス感染拡大防止策として、南北の国境の管理がより厳格化されているなか、これまで大統領令により可能となっていた、人道的観点からのアメリカ大陸外からの移民(アジア、アフリカ、カリブ諸国など)による入国も許可しないことを発表した。 コスタリカ当局によると、これは国境付近での移民の密集の発生を防ぎ、収拾のつかない事態とならないようにするため。同発表の直前には、パナマから中米北部へ向かう 100 名の大陸外からの移民による入国を許可したばかりだった。 コスタリカ移民局(DGME)によると、同国による国境閉鎖以降、4 月 2 時点で入国を許可された外国人は 2,715 名に上り、さらに 577 名の外国籍の住民が非常事態宣言中に出

国したために在留資格を失い、再入国が許可されなかった。

キャンベル副大統領によると、これまでの非常事態宣言に係る入国拒否の約 77%がニカラグアとの主要な出入国管理所の位置するペニャス・ブランカス、約 22%がサンホセ国際空港、そして約 1%がその他の場所で行われている。

番号 26 コスタリカ

Ameliarueda(地域国際紙)(2020 年 4 月 6 日付)

「Costa Rica extiende su cierre de fronteras hasta el 30 de abril」

場所 URL

<https://www.ameliarueda.com/nota/costa-rica-cierre-fronteras-extiende-coronavirus-covid19>

要約

2020 年 4 月 6 日、コスタリカ政府は、当初 4 月 12 日までとしていた、新型コロナウイルス感染対策としての国境閉鎖を、さらに 18 日間延長し、同月の 30 日までとする方針を明らかにした。それに合わせ、改めて国内在住の外国籍住民に対し、国境閉鎖中に出国した場合、コスタリカでの在留資格を自動的に失うために注意するよう呼びかけた。

また、国境地帯で不法入国を試みる人々の目撃情報も治安当局に寄せられているため、これらの場所での監視強化を徹底していく方針も改めて表明した。

番号 27

Diario Libre(ドミニカ共和国紙：EFE 通信キャリー記事)(2020 年 4 月 10 日付)

「Costa Rica instala base aérea para vigilar frontera norte por COVID-19」

場所 URL

<https://www.diariolibre.com/actualidad/internacional/costa-rica-instala-base-aerea-para-vigilar-frontera-norte-por-covid-19-HL18203675>

要約

2020 年 4 月 10 日、コスタリカ政府は同国北部のニカラグアとの国境地帯における監視強化のために、主な出入国管理所の立地するロス・チレス付近のラス・タビージャスに、新たに治安当局用の航空基地を設置することを発表した。これにより、空からの不法入国の監視を徹底していく方針。また、コスタリカ移民局の発表によると、4 月 6 日時点で、北部国境を中心にコスタリカへの入国を拒否された外国人の数は 5,357 名に達している。

さらに、本来同国での在留資格や就労許可を保有している外国人 1,350 名が、非常事態宣言中に出国したことによるこれらの自動失効に伴い、再入国を拒否されたことも明らかになった。

番号 28 コスタリカ

La República(コスタリカ紙)(2020 年 4 月 11 日付)

「Policía usa drones en frontera norte para vigilar zonas de difícil acceso」
場所 URL https://www.larepublica.net/noticia/policia-usa-drones-en-frontera-norte-para-vigilar-zonas-de-dificil-acceso
要約 聖週間(イースター)を直前に控え、新型コロナウイルス感染の拡大防止の観点から、コスタリカの北部国境におけるニカラグア人の国境を越えた移動に対する監視が強化されている。その一環として治安当局は、特に人による監視が困難な場所におけるドローンの運用開始を発表した。ドローンにより収集された情報はロス・チレスに新たに設置された治安当局の基地において分析され、不法に出入国を図る人々の追跡や入国防止に活用される。

番号 29 コスタリカ
CR Hoy(コスタリカ紙)(2020 年 4 月 12 日付) 「PANI y Migración protegen a menor embarazada que ingresó irregularmente al país」
場所 URL https://www.crhoy.com/nacionales/pani-y-migracion-protegen-a-menor-embarazada-que-ingreso-irregularmente-al-pais/
要約 コスタリカ移民局及び PANI(国家児童保護庁)は、4 月 11 日に北部国境の死角を通じてコスタリカに不法入国していた妊娠中の未成年のニカラグア人女性を保護したことを発表した。 同ニカラグア人女性は、新型コロナウイルス感染時に併発する症状を見せていたこともあり、直ちに医療機関に移送され検査を受けたが、その後に陰性であることが確認された。現在、コスタリカは国境閉鎖中で原則として外国人の入国を許可していないが、本件に関しては非常事態宣言下であっても、コスタリカ移民法が国に義務付ける、「保護者を伴わない未成年移民に対する保護」を実施した形となった。

番号 30 コスタリカ
La Nación(コスタリカ紙)(2020 年 4 月 13 日付) 「1.358 personas perderán su estatus migratorio por incumplir medidas sanitarias」
場所 URL https://www.nacion.com/sucesos/seguridad/1358-personas-perderan-su-estatus-migratorio-por/O73I34UZ2ND4NJLZXG24WRE3CY/story/
要約

4月13日、コスタリカ移民局(DGME)は、非常事態宣言下に出国し、その後再入国を試みた国内での在留資格保有者(住民登録者や労働許可証保有者など)のうち、1,358名の資格失効手続きを開始したことを発表した。

同様に入国拒否の対象となった人々の数は13日時点で合計5,486名に達しており、その大半をニカラグア人が占めている。同様に、この3週間の期間に、違法に国境を越えた人身移送を試みようとした自動車245台が摘発されている。また、偽装パスポートで入国を試みた人物の拘束も確認されている。

他方、正規の出入国管理所においては、例年と比べて聖週間(イースター)の前後を含む期間中に、コスタリカとニカラグアの二国間を移動する人々の数は劇的に減少している。

番号 31 コスタリカ

El Guardian(コスタリカ紙)(2020年4月17日付)

「**Posponen multa por estancia ilegal de extranjeros**」

場所 URL

<https://elguardian.cr/servicios/posponen-multa-por-estancia-ilegal-de-extranjeros/>

要約

コスタリカ政府は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための国境閉鎖により、同国内で超過滞在を余儀なくされている外国人を対象に、本来の罰金支払いの義務が生じないように、合法滞在期間の延長措置を検討中。近日中に同措置を実施するための政令を制定する予定。

番号 32 コスタリカ

El Mundo(コスタリカ紙)(2020年4月29日付)

「**Crucero arribará mañana a Puntarenas para desembarcar a tres ticos de la tripulación**」

場所 URL

<https://www.elmundo.cr/costa-rica/crucero-arribara-manana-a-puntarenas-para-dese-mbarcar-a-tres-ticos-de-la-tripulacion/>

要約

4月30日に、コスタリカ太平洋岸に位置するプンタレナス港に、クルーズ船「セブンズ・シーズ・ナビゲイター」が寄港予定。その主な目的は食料や燃料の補給、及び帰国を希望していた3名のコスタリカ人旅客の下船。同コスタリカ人3名は下船後に、現在の政府の定めるガイドラインに則り、然るべき検査とその後の14日間の隔離(港湾内で実施予定)が義務付けられる。その後に、3名はプンタレナス港からの移動が可能になる。現在、コスタリカは国境閉鎖中のため、その他の旅客含む乗員の下船は許可されない。

番号 33 コスタリカ

La Prensa(ニカラグア紙)(2020 年 5 月 8 日付) 「Costa Rica pedirá a transportistas prueba negativa de Covid-19 para dejarlos entrar al país」
場所 URL https://www.laprensa.com.ni/2020/05/08/nacionales/2671687-costa-rica-pedira-a-transportistas-prueba-negativa-de-covid-19-para-dejarlos-entrar-al-pais
要約 5 月 8 日、コスタリカ政府は同日午後 3 時より、コスタリカへの入国を希望する物資輸送トラックの全運転手による、入国前の新型コロナウイルス感染の確認検査の実施を義務付けることを発表した。 同措置は、前日に国境を越えた運転手 2 名(コスタリカ人 1 名とニカラグア人 1 名)に陽性反応が出たことを受けての対応となる。 検査の結果判明には 24～48 時間ほどを要するため、その間にトラック運転手は国境で待機となる。 前日の 7 日にコスタリカ政府は、新型コロナウイルス感染対策の一環としての国境閉鎖措置を、さらに 6 月 15 日まで延長する旨を発表していた。

番号 34 コスタリカ
Columbia(コスタリカ紙)(2020 年 5 月 10 日付)「14 transportistas positivos de COVID en los primeros dos días de control en las fronteras」
場所 URL https://www.columbia.co.cr/noticias/coronavirus-covid-19/17376-14-transportistas-positivos-de-covid-en-los-primeros-dos-dias-de-control-en-las-fronteras
要約 コスタリカ保健省は、5 月 8 日の午後 3 時から、物資輸送を目的に入国する全てのトラック度運転手の新型コロナウイルス感染確認検査を義務づけて以降、10 日時点で合計 14 名に陽性反応が出たことを明らかにした。同検査は国境の両側(コスタリカとニカラグア及びパナマ)で実施されている。

番号 35 コスタリカ
El País(コスタリカ紙)(2020 年 5 月 15 日付) 「Costa Rica impide ingreso de 231 extranjeros en condición irregular por frontera de Panamá」
場所 URL http://www.elpais.cr/2020/05/15/costa-rica-impide-ingreso-de-231-extranjeros-en-condicion-irregular-por-frontera-de-panama/
要約

5月15日、コスタリカ政府はこれまでに全長約40kmに渡るパナマとの国境から不法に入国を試みる外国人231名を治安当局が拘束したことを発表した。コスタリカ移民局によると、3月19日の国境閉鎖以降、パナマとの国境で入国を拒否された外国人の合計は1万1515名に上るが、その大半は正規の入国管理所において入国拒否を通達されている。治安当局は国境付近だけでなく、首都サンホセへとつながる主要幹線沿いでの監視も強化していることを明らかにした。

番号 36	コスタリカ・中米
Infobae(地域国際紙)(2020年5月15日付)「 Costa Rica organiza convoy para agilizar transporte de carga, ante control por coronavirus 」	
場所 URL https://www.infobae.com/america/agencias/2020/05/15/costa-rica-organiza-convoy-par-a-agilizar-transporte-de-carga-ante-control-por-coronavirus/	
要約 2019年5月15日、コスタリカ当局は、国境における新型コロナウイルス感染対策の強化を受け、国境を越えて物資輸送を担うトラック運転手を一定規模の集団に編成し、その国内での移動を監視することで物資輸送の遅滞防を図ることを発表した。 コスタリカ貿易省は、最初の集団となる50台が同日の夜にニカラグアとの国境に位置するペニャス・ブランカスで編成され、同集団がパナマへと出国するまでの移動が当局により管理されると述べた。 5月7日にコスタリカとニカラグアの国境において抜き打ちで実施された検査により、トラック運転手2名の新型コロナウイルス感染が確認されて以降、コスタリカの国境では検査が義務化され、結果判明までに24～72時間を要することからここ数日はそのために数キロメートルにわたるトラックの待機列が発生する事態に至っていた。 今回の集団移動に参加した場合、運転手は国境での感染検査は義務付けられるが、治安当局の監視下で他者との接触が許されない移動を実施するため、その検査結果を待たずに物資輸送を実施することができる。 コスタリカ保健省によると、国境でのトラック運転手を対象とした感染検査の開始以降、15日時点で31名に陽性反応が出ている。	

番号 37	コスタリカ・中米
CR Hoy(コスタリカ紙)(2020年5月16日付)「 Así limitarán el ingreso de transportistas a nuestro país 」	
場所 URL https://www.crhoy.com/nacionales/asi-limitaran-el-ingreso-de-transportistas-a-nuestro-pais/	
要約	

コスタリカ公安省は、現在同国を目的地又は通過点として物資輸送を行うトラック運転手が、入国管理所付近で新型コロナウイルス感染検査の実施を義務付けられていることにより運転手の滞留が生じていることを受け、複数の対策を発表。 1 つ目は、最終目的地がパナマ(コスタリカは通過地点)である場合、運転手を一定規模の集団に編成し移動させること。同措置は 15 日の午後 10 時より開始。2 つ目は、国境地点で荷降ろしを行い、感染していないことが確認されたコスタリカ国内の別の運転手が、その荷物を国内の最終目的地まで輸送するリレー方式の導入。 両措置とも、コスタリカ国内での外国人トラック運転手の数を極力少なくすることが目的。そのための政令(Los decretos N°42351-H y 42350-MGP-S)が 15 日にアルバラード・コスタリカ大統領によって署名済み。

番号 38 コスタリカ・中米
CRC891(コスタリカラジオ局)(2020 年 5 月 17 日付)「 Transportistas se retirarían molestos ante medidas por la pandemia en el país 」
場所 URL https://crc891.com/transportistas-se-retirarian-molestos-ante-medidas-por-la-pandemia-en-el-pais/
要約 グアテマラの鮮魚配送業者協会の副会長は、5 月 15 日以降、コスタリカ政府が同国に物資輸送のために入国を試みようとするトラック運転手に対し厳格な条件を課していることに対し、同措置が過剰であると抗議し、協会所属の運転手に向けてコスタリカの国境から物資と共に引き上げるよう呼びかけた。 コスタリカ貿易省のヒメネス大臣は、コスタリカによるトラック運転手の入国管理が中米諸国に不快感を生じさせていることは本意ではないとし、国の安全確保と経済活動のバランスをとるための方策であると述べ、かつ中米諸国のトラック運転手からの不満にも真摯に対応していることを強調した。

番号 39 コスタリカ・ニカラグア
teleSUR(ニカラグア紙)(2020 年 5 月 18 日付)「 Nicaragua insta a Costa Rica permitir circulación de transporte fronterizo 」
場所 URL https://www.telesurtv.net/news/nicaragua-costa-rica-garantia-libre-circulacion-transporte-20200518-0051.html
要約 5 月 18 日、ニカラグアのダニエル・オルテガ大統領は、コスタリカ政府に対し、同国の国境や税関での対応が厳格化した後も、両国をまたぐ物資輸送に支障が生じないように求める意向を表明した。

アウグスト・サンディノーノ生誕 125 周年式典中の発言内で、オルテガ大統領はコスタリカ政府による新型コロナウイルス感染対策が中米諸国に及ぼしている負の影響を非難した。

同大統領はトラック運転手団体との協議を通じて、輸送対象品には生鮮物も含まれていることなどの問題を把握していることにも言及。国境での待機時間の長期化への懸念を表明した。

また、同問題解決のためにコスタリカ政府と協議する態勢が整っているとし、域内物資輸送に支障が生じないための体制づくりのためにその他の国々や地域の期間とも協働を図っていくことも併せて強調した。

番号 40 コスタリカ・ニカラグア

El 19 digital (ニカラグア紙)(2020 年 5 月 18 日付)「**Nicaragua ratifica voluntad de facilitar tránsito aduanero internacional terrestre de mercancías**」

場所 URL

<https://www.el19digital.com/articulos/ver/titulo:103487-nicaragua-ratifica-voluntad-de-facilitar-transito-aduanero-internacional-terrestre-de-mercancias>

要約

ニカラグアのオルテガ大統領は、自国が存続していくためには、生産や流通含む経済活動に関する議題にも取り組む必要があることに言及。そのうえで、コスタリカの課している制限により、中米域内の物資の流通に支障が生じている事態を憂慮。

つい最近まで、各国の衛生対策や税関での新たなガイドライン導入などにより、中米内の流通ラインは新型コロナウイルス感染に見舞われていなかったことを強調し、コスタリカの一方的な物資輸送関係者の入国制限措置により、現在 1 千台以上の輸送トラックがニカラグアとコスタリカの国境付近に滞留していることを非難した。

そのうえで同大統領は、物資輸送関係者からの要望をもとに、中米共通のガイドラインの確立の必要性を訴えた。また、多くの運転手が自営業者であるため、コスタリカの提案する国境でのコスタリカ国内の運転手に輸送物資を引き渡す「リレー方式」の実施を可能にするネットワークの形成も困難であるとも述べた。

番号 41 コスタリカ

La República(コスタリカ紙)(2020 年 5 月 18 日付)「**País espera, en Limón, a 97 ticos provenientes de crucero**」

場所 URL

<https://www.larepublica.net/noticia/pais-espera-en-limon-a-97-ticos-provenientes-de-crucero>

要約

5 月 19 日に、クルーズ船「ラプソディー」に乗船しているコスタリカ人旅行者 97 名に

よる帰国が予定されている。到着予定のカリブ海岸のリモン港では、コスタリカ保健省、社会保険庁、移民局及び公安省の職員がこれまでに数週間をかけて厳格な受け入れ体制を整備してきた。

到着後の新型コロナウイルス感染確認のための検査等の手続きは、指定の場所において一般の港湾労働者とは接触しない形で実施される予定。同 97 名は帰国後に 14 日間の自主隔離が義務付けられる。

番号 42	コスタリカ・中米
El País(コスタリカ紙)(2020 年 5 月 19 日付)「 Costa Rica reafirma necesidad de controles sanitarios para transportistas por Covid-19 」	
場所 URL https://www.elpais.cr/2020/05/19/costa-rica-reafirma-necesidad-de-controles-sanitarios-para-transportistas-por-covid-19/	
要約 5 月 19 日、コスタリカ保健省はメディア向けの会見において、国内での新型コロナウイルス感染対策の一環として、18 日以降に同国が国境を通過する物資輸送従事者を対象に実施している衛生管理の重要性を改めて強調した。併せて、これまでに国内で確認された感染者のうち、38 名がトラック運転手または彼らと接触のあった人々であることに言及した。 また、これまでに国境において計 50 名のトラック運転手の新型コロナウイルスへの感染を確認し、これらの運転手に対しては入国拒否を実施したことも明らかにした。さらに、検査が義務化される以前にコスタリカに入国していた運転手 11 名が、ニカラグアへの入国前の検査で陽性が判明し、現在コスタリカ国内に滞留中であることも発表した。 他方、コスタリカ貿易省は、今後もより効率的なメカニズムの構築に努めることを表明しつつ、コスタリカは中米諸国に対して国境も交渉の場も閉ざしていないことを強調した。	

番号 43	コスタリカ・中米
La Nación(コスタリカ紙)(2020 年 5 月 20 日付)「 Transportistas de carga por Centroamérica originan 38 casos de covid-19 en 11 días 」	
場所 URL https://www.nacion.com/el-pais/salud/transportistas-de-carga-por-centroamerica-originan/Z6NAPW6TTRGGNEWRDZHUCPNVUM/story/	
要約 コスタリカ公安省は、国内北西部のグアナカステ県において、国境をまたいで物資輸送	

に従事していた1名のトラック運転手から17名に新型コロナウイルス感染が広がったこと、同様に首都サンホセ近郊のナランホ市においても、1名の運転手から4人に感染したことを確認したとし、これらのケースを含めこの11日間に運転手から広がった感染者は38名に達していることを明らかにした。

そのうえで、同事実を根拠に、コスタリカが現在国境で物資輸送従事者に対して実施している衛生管理措置(最終目的地がコスタリカ以外あるトラックをグループに編成し、その道中の動きを徹底管理。)の正当性を主張した。

直近の2週間に、ニカラグアとの国境において新型コロナウイルスへの感染が確認されたことでコスタリカへの入国を拒否された運転手は50名に達している。’

ニカラグアのオルテガ政権は、コスタリカによる国境での厳格な衛生管理体制が物資輸送に過剰な停滞を及ぼしているとして、報復行為として5月18日からコスタリカに対して国境を閉鎖中。

コスタリカとしては、検査体制のもたらす負の側面を承知しつつも、国民の健康と安全が最優先との立場を強調。

これまでの流れ、5月8日以降、国境をまたぐトラック運転手の検査が義務化。陰性が判明するまでは入国が許可されず。しかし、国内での感染者増を受けて、5月15日から政令により外国人運転手の入国を全面禁止に。それと同時にリレー方式と、最終目的地がコスタリカでない場合の50台規模のトラックによるグループ編成とその道中の監視強化策を発表。。これらの措置が、中米の輸出入業者や物資輸送業者からの大きな反発を買い、業界からは同措置の停止を求める声が上がっている。

コスタリカ政府としては、国境閉鎖ではなく、あくまでも商業活動への影響も配慮している措置であると主張しつつも、中米諸国からは改善策を求められている。

コスタリカ政府としては運送関係者に対しては国境を開放したままであるとし、近隣諸国とも改善に向けた交渉の余地を残していることを強調。ニカラグアによる国境閉鎖など、物流を阻害しているのは国外の要因であるとの主張を展開した。

番号 44 コスタリカ・中米

La Nación(コスタリカ紙)(2020年5月21日付)「Costa Rica propone al Istmo autorizar ingreso de choferes al país con control de tecnología GPS」

場所 URL

<https://www.nacion.com/economia/politica-economica/costa-rica-propone-al-istmo-autorizar-ingreso-de/JMWS4KU37BDGZLTCPQ3AMSL6Q4/story/>

要約

コスタリカは中米諸国に対し、現在新型コロナウイルス感染対策のために各国間の国境において物資輸送に従事するトラック運転手の待機時間が長期化している事態を受け、彼らの移動をスムーズにするための対策を提案(事前の国境における「リレー方式」導入案などに加わる新たな案として)。

その内容は、中米諸国間を移動するトラック運転手に GPS 装置の携帯を義務付けてその動きを監視しつつ、物資輸送ルート of 事前の指定も図るというもの。入国した運転手は最大 72 時間のコスタリカ滞在が許可される。

21 日時点では、パナマ以外の中米諸国はコスタリカの同提案に合意していない。5 月 17 日には、ニカラグアとの国境においてトラック運転手の抗議活動により、そして翌 18 日からはニカラグア政府による国境閉鎖措置により両国間の物資輸送が停滞している。

他方、パナマにおいても、両国間の合意に反し、運転手の動きの管理の徹底を図ろうとするコスタリカの提案に抗議する約 100 名のトラック運転手が物資輸送を拒否し続けている事態となっている。

コスタリカ政府は、あくまでも実験的な措置であり、状況によって見直しを図りながら地域としての衛生管理体制を築くことの重要性を強調しつつ、今後も中米諸国間との交渉を継続していくことを表明。

番号 45 コスタリカ・パナマ
Ameliarueda(地域国際紙)(2020 年 5 月 21 日付)「 Transportistas panameños sin síntomas de Covid-19 podrán ingresar por 72 horas a Costa Rica 」
場所 URL https://www.ameliarueda.com/nota/transportistas-panamenos-sin-sintomas-covid19-ingresaran-72-horas-costarica
要約 コスタリカ貿易省は、新型コロナウイルスの感染が確認されなかったパナマ人トラック運転手は、両国間の合意に基づき、最大 72 時間コスタリカ国内に滞在できることを発表した。 同措置はあくまでもコスタリカとパナマの二国間のパイロットプランとして 5 月 21 日から導入され、6 月 15 日に最初の見直しが行われる予定。 今後、パナマ人トラック運転手は入国及び衛生に関する指示を受け、GPS 装置の携帯や、指定されたルートの走行や 10 時間以内の荷積みまたは荷降ろし地点までの到着、同地点での 48 時間以内の作業終了などが義務付けられることになる。 コスタリカは今後も、ニカラグア含むその他の中米諸国とも、本案件に関する交渉を継続していく意向を表明している。 コスタリカ人運転手の場合、症状の有無に関係なく検査結果が出るまで待機し、陽性反応が出た場合や重症者には然るべき医療措置がとられる。

番号 46 パナマ
La Estrella de Panamá(パナマ紙)(2020 年 5 月 26 日付)「 Panamá limita a 72 horas el ingreso de transportistas de Costa Rica 」
場所 URL

<https://www.laestrella.com.pa/nacional/200526/panama-limita-72-horas-ingreso-trans-portistas-costa-rica>

要約

2020 年 5 月 26 日、パナマ政府は、コスタリカから入国する物資輸送に従事するトラック運転手(コスタリカ人)による、パナマの税関当局が設置した特別指定地域での荷積みと荷降ろしの実施と、同国の滞在時間を最大 72 時間に制限し、輸送ルートや作業時の衛生管理などを徹底することを発表。同措置は二国間の共通の取り決めであり、パナマ人運転手もコスタリカでは同様の措置が適用される。右の発表に伴い、両国間の国境でコスタリカによる一方的な措置に対する抗議活動を展開していたパナマ人運転手たちが職務に復帰へ。

番号 47 コスタリカ・ホンジュラス

El País(コスタリカ紙)(2020 年 5 月 27 日付)「**Honduras aplica reciprocidad a restricciones para transporte de carga**」

場所 URL

<http://www.elpais.cr/2020/05/27/honduras-aplica-reciprocidad-a-restricciones-para-transporte-de-carga/>

要約

2020 年 5 月 27 日、ホンジュラス政府は、コスタリカが中米諸国に求めている新型コロナウイルスの感染拡大の防止を目的とした物資輸送時に適用される措置への対抗策として、同国からの運転手に対し独自の措置を適用することを発表した。

この新たな措置により、コスタリカの物資輸送用のトラックは、ホンジュラス国内で荷降ろしだけを許可され、荷積みした状態での出国が禁じられることになり(※コスタリカが中米諸国に対して、外国人運転手は国境付近で荷降ろしを実施し、最終目的地にはコスタリカ国内の業者が輸送を実施するリレー方式提案していることへの反発)、また、通常は最大 10 日間だったコスタリカ人運転手によるホンジュラス国内の滞在時間が 72 時間に制限されることになる。

ホンジュラス政府は、コスタリカによる中米諸国の物資輸送従事者への厳格な措置が域内(中米)の自由貿易協定を侵害し、莫大な損失を生じさせていると非難し、現在コスタリカとニカラグアとの国境で滞留させられている 1300 台近いトラックのうち、約 300 がホンジュラスからのものであるとした。

番号 48 中米

El País(コスタリカ紙)(2020 年 5 月 28 日付)「**Centroamérica aprueba lineamientos de bioseguridad para transporte terrestre**」

場所 URL

<http://www.elpais.cr/2020/05/28/centroamerica-aprueba-lineamientos-de-bioseguridad>

要約

5月28日、中米統合機構(SICA)は、中米経済統合事務局(SIECA)内に設置されている中米各国の保健担当及び通商担当大臣による会合(COMISCA 及び COMIECO))がそれぞれ実施され、「物資輸送における新型コロナウイルス感染対策としてのバイオセキュリティ(防疫対策)に関する新たなガイドライン」について合意に至ったことを発表した。

これに伴い、今後域内諸国は、物資輸送に関する手続きにおいての連携を深め、既に各国が実施していた感染対策を一層強化していく方針。

一般市民や、物資輸送に携わる全ての関係者の健康を最重視しつつ、国境での作業効率を上げることで物資輸送の円滑化を図る狙い。

主な合意内容

- ・物資輸送関係者は所属する企業の建物に出入りする際に、世界保健機関(WHO)や各国保健省の定めたガイドラインに則った衛生管理を徹底すること。

- ・中米統合機構加盟国における物資輸送者の出入国手続きの際には、厳格な手続きと衛生管理が講じられる。

- ・入国管理所における輸送従事者の感染確認、診断、浄化プロセスの徹底。荷積みや荷降ろしを行う場所でも、検温や症状の確認などを実施へ。

- ・出国時に検査を通じて陰性が確認された場合、運転手とその後の輸送作業を続けるために必要な証明書類を当局が付与。

- ・感染が疑われるケースにおいて、ただちに医療施設への移送や保健当局への通知が義務化。その後の輸送作業の継続は各地の保健当局が判断し、使用された輸送車は隔離され消毒が施される。

- ・輸送業者による従業員向けの新型コロナウイルスに関する情報と感染予防策に関する情報周知の徹底。これらのための研修の実施記録を残すことも義務化。

- ・関連対策において、民間部門も連帯責任を負っていることへの意識付けの強化。

- ・荷積みや荷降ろしの際には、物資輸送従事者は荷物を直接手で触れるのを避け、機械を用いることを義務化。

- ・各入国管理所では、感染予防対策のために特定国内の組織期間協力だけでなく、二国

間での連携の枠組みも確立。

- ・入国管理所関係者による消毒作業などの衛生ガイドライン遵守の徹底。
- ・輸送車の各運転手は、防疫対策関連アイテムを常に携行及び正しく使用し、国境での手続き前には健診を受けることが義務化。
- ・運転手が陰性反応を示すケースでは、当局により設定された期限内に目的地の国から出国すること、輸送先のある国において休憩を目的に停車する場合も当局が事前に指定した場所で極力少ない回数で済ませること。
- ・最終目的地に到着した際には、荷下ろしは機械を用いて衛生管理に配慮しながら実施し、作業終了後は可能な限り迅速に出国すること。また各国は、国内で運転手が当局の伴走又は GPS 携帯による監視下で移動を実施することを義務付けるか否かを決定する。
- ・中米統合機構(SICA)の各地の関連機関の支援を通じて、各国の衛生管理担当機関は、関係者に対する研修や情報提供を徹底。

番号 49 コスタリカ・キューバ

AND Cuba (キューバ紙)(2020 年 5 月 29 日付)「**Costa Rica permite entrada a 4 cubanos con COVID-19**」

場所 URL

<https://adncuba.com/noticias-de-cuba/migracion/costa-rica-permite-entrada-4-cubanos-con-covid-19>

要約

コスタリカ政府は、隣国ニカラグアの首都マナグアに 2 カ月滞在した後に、コスタリカでの難民申請を希望した 4 名のキューバ人の入国を 5 月 26 日に許可した。その後、入国時に実施した PCR 検査により、4 名とも新型コロナウイルスへの感染が確認されていたことを発表した。それでも同 4 名は入国を許され、検査後はコスタリカ側の国境付近の都市 Los Chiles に移送され、現地で隔離を実施中。

番号 50 中米

El País(コスタリカ紙)(2020 年 5 月 31 日付)「**Centroamérica llega a un acuerdo para retomar el flujo comercial regional**」

場所 URL

<https://www.elpais.cr/2020/05/31/centroamerica-llega-a-un-acuerdo-para-retomar-el-flujo-comercial-regional/>

要約

中米経済統合事務局(SIECA)の中米経済統合閣僚会議(COMIECO)において、新型コロナウイルス感染防止対策としての一環として今後中米域内の物資輸送において適用される措置についての協議と合意がなされた。 同会議後、コスタリカ貿易省は、ニカラグアとの国境で滞留していた物資輸送の再開と、中米の輸送業者協会(la Federación Centroamericana de Transportistas)と合意に至った対応策が実施される見込みであることを発表した。 コスタリカのヒメネス貿易大臣は、中米は新型コロナウイルスの感染拡大の深刻な影響を受けているものの、地域として革新的な解決策を打ち出せることを証明できたと述べた。 コスタリカ政府は自国の働きかけを通じて達成した成果を強調。国内外の流通関係機関・団体からは、あくまでも一時的な措置とは言え、中米諸国間で合意に至ったことへの一定の評価がなされている。 他方、ニカラグア政府は、あくまでもコスタリカの求める方策を一方的に各国に適用させた一時的な措置であり、円滑な物資輸送を実現するための問題解決には至っていないとの認識を示し続けている。
--

番号 51 コスタリカ・ニカラグア
Confidencial (ニカラグア紙)(2020 年 5 月 31 日付)「 Frontera entre Costa Rica y Nicaragua continúa cerrada, pese a acuerdo entre Gobiernos y transportistas 」
場所 URL https://confidencial.com.ni/frontera-entre-costa-rica-y-nicaragua-continua-cerrada-pe-se-a-acuerdo/
要約 5 月 30 日、12 日間の交渉の末に、コスタリカとニカラグアの両国政府は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての物資輸送従事者の国境における取り扱いに関し、合意に至った。 しかし、コスタリカ公安省によると、その後も両国間の移動をしたい運転手たちが、ニカラグアの税関において係る手続きが実施できず(ニカラグア税関の言い分では公式にガイドラインが示されていない)にいたことが明らかになった。 同合意に関しては中米統合機構(SICA)の公式ツイッター上で発表されていた。 同合意により、域内諸国の物資輸送車の運転手はコスタリカに入国が可能で、指定の場所で(生鮮品や危険物のみ?)荷降ろしなどが可能。輸送中の衛生管理も当局により徹底される。業界団体と SICA と SIECA による物資輸送業に対する支援体制の強化も発表。 コスタリカ政府が当初要望していたリレー方式に関しては、業界や各国政府からも反発が強かった。 28 日には中米各国の保健担当省庁と世界保健機関(WHO)間で、物資輸送に関する衛生管理ガイドライン設置に関し合意形成がなされていた。

番号 52	パナマ
LA VANGUARDIA(地域国際紙：EFE 通信キャリア記事)(2020 年 6 月 2 日付)「 Baja la cifra de migrantes irregulares enfermos de COVID-19 varados en Panamá 」	
場所 URL https://www.lavanguardia.com/vida/20200602/481579677331/baja-la-cifra-de-migrant-es-irregulares-enfermos-de-covid-19-varados-en-panama.html	
要約 6 月 2 日、パナマ移民局(SNM)は、コロンビアとの国境に滞留している移民のうち、新型コロナウイルスの感染者数が 15 名まで減少し、かつ保護施設での密集を避けるために新たな保護施設の建設計画を発表した(さらなる追加建設案も検討中)。 現在、コロンビアとの国境に位置する地域には、約 2 千名の多様な国籍の移民が滞留している。5 月中旬時点ではそのうちの 43 名が新型コロナウイルスに感染していることが確認されていた。 パナマが新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために国境を閉鎖して以降、パナマ国内、特にコスタリカ音コロンビアとの国境付近では、合計約 2,500 名の移民(不法滞在者を多く含む)が滞留している。 事前には、米州人権裁判所(スペイン語略称 CIDH)は、同事態を憂慮し、パナマ政府に対してこれらの移民の健康に生きる権利を尊重し、然るべき医療対応などを講じるよう要請していた。 パナマ政府は、北米を目指し中米を通過する多様な国籍の移民に対する医療や食糧支援を積極的に実施しているのは、現状では同国とコスタリカだけであるとし、コロナ禍であっても、ニカラグア含むその他の中米諸国の協力が必要であることを訴えた。	

番号 53	コスタリカ・ニカラグア
La República(コスタリカ紙)(2020 年 6 月 9 日付)「 Lo que debe saber sobre Nicaragua, la frontera norte y el Covid-19 」	
場所 URL https://www.larepublica.net/noticia/lo-que-debe-saber-sobre-nicaragua-la-frontera-norte-y-el-covid-19	
要約 現在、平均で日に約 200 名が、ニカラグアとコスタリカとの国境において、コスタリカへの入国を拒否されている。コスタリカの国境閉鎖以降、(ニカラグアと接する)北部国境で入国拒否を受けた人々の総数は約 1.6 万名に上る。中には、国境線の死角を突いて違法な入国を行っている人々もいる。 6 月 3 日、コスタリカ政府は新型コロナウイルス感染の状況の深刻度合いに応じて国内各地を色分けしているなか、ニカラグアとの国境に接している北部地域の一部の警戒度を	

<https://www.elpais.cr/2020/06/12/nueva-estrategia-en-costa-rica-para-enfrentar-segunda-ola-de-covid-19/>

要約

6月20日、コスタリカ政府は、ニカラグアとの国境が位置する国内北部地域において、新型コロナウイルスの感染拡大の第2波を防止すべく、国連機関と連携して、衛生管理や医療体制の更なる充実を図る戦略を発表した。

同北部地域は2週間前にコスタリカ政府が新型コロナウイルス感染拡大防止のための措置の緩和を段階的に開始して以降、再び感染者の増加が確認されていた。そのため、要注意エリアに指定されていた。

関係当局は、同地域での対応強化をしていくうえで、新型コロナウイルスを巡り他国出身者(主にニカラグア人)に対する排斥や、それを及ぼしかねない言説を避けるよう注意を呼び掛けている。

番号 56 コスタリカ

Ameliarueda(地域国際紙)(2020年6月12日付)「**CCSS: migrantes irregulares con síntomas de Covid-19 recibirán atención médica, pero deben pagar**」

場所 URL

<https://www.ameliarueda.com/nota/migrantes-irregulares-reciban-atencion-medica-caja-deberan-pagar-servicio>

要約

コスタリカ社会保険庁(CCSS)は、コスタリカ国内では例え不法滞在者であっても、全ての人に今般の新型コロナウイルス感染を含む緊急の医療措置が必要な状況において提供されることが保障されているが、不法滞在者の場合は、その後に医療費支払いの義務が生じうると述べた。

また、現在国境付近での医療体制がスペース及び予算ともに逼迫してきているなかで、不法滞在の外国人に医療サービスが提供されるのはあくまでも新型コロナウイルス感染を含む緊急事態のみであることも併せて強調した。保健省によると、この数日間、特にニカラグアとの国境が位置する国内北部での感染者増が顕著になってきている。

番号 57 パナマ・コスタリカ・ニカラグア

El diario.es(スペイン紙: EFE 通信キャリー記事)(2020年6月13日付)「**Nicaragüenses varados en Panamá viajan hacia su país atravesando Costa Rica**」

場所 URL

https://www.eldiario.es/desalambre/nicaragüenses-panama-atravesando-costa-rica_16016922.html

要約

中米諸国による国境閉鎖の以前から、パナマ国内のサトウキビ農園などで季節労働に従

事していたニカラグア人 109 名が、約 3 カ月間の国内待機を経て、パナマ及びコスタリカの関係当局の連携により、陸路での帰国を果たせる運びとなった。

その道中では、通常の出入国管理だけでなく、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からバイオセキュリティ面での管理も徹底される予定。コスタリカ及びパナマ両国は、今回の対応を「人道的な帰路の提供」と称している。

番号 58 コスタリカ

Semanario Universidad(コスタリカ紙)(2020 年 6 月 16 日付)「**COVID-19 se ensaña más contra población extranjera: ahora conforma el 26% de los casos**」

場所 URL

<https://semanariouniversidad.com/pais/covid-19-se-ensana-mas-contr-poblacion-extrajera-ahora-conforma-el-26-de-los-casos/>

要約

この 2 ヶ月間(※記事は 6 月 16 日付)に、コスタリカ国内での新型コロナウイルス感染者に占める外国人の占める割合が 4 倍に増加し、外国人排斥の機運が醸成されつつある。

3 月 6 日に国内で初の感染者が確認されて以降、100 日が経過し、国内の全感染者に占める外国人の割合は約 26%となっている。同数値は 4 月の第 2 週の時点では約 6%で、同様に 5 月中旬までは約 15%だった。5 月 15 日から 6 月 15 日にかけて、コスタリカ人感染者の増加率が 80%だったのに対し、外国人のそれは 200%に達した。コスタリカ保健省の調べでは、確認された外国人感染者のうち、約 47%を不法滞在者が占めている。

同省は特定の国籍を名指しすることを避けているが、ニカラグアとの国境付近や、ニカラグア人が集住する農園や街での感染拡大を受け、これらの場所での対応を強化していることを明らかにしている。

特に最近の感染拡大の中心地となりつつ国内北部のサン・カルロス市においては、地元住民の圧力により、感染確認またはその疑いのあったニカラグア人が保護施設からの移動を迫られたり、市長自身もニカラグア人が感染防止に関するガイドラインに従わないなどと発言したりする事態が起きていた。

国立コスタリカ大学の専門家や移民支援を実施している団体などは、従来のメディアではなく、SNS などでニカラグア人排斥を煽るメッセージが拡散している事態に懸念を示している。

番号 59 コスタリカ

Prensa Latina(キューバ紙)(2020 年 6 月 17 日付)「**Clausuran nueve empresas agrícolas en Costa Rica por Covid-19**」

場所 URL

<https://www.prensa-latina.cu/index.php?o=rn&id=374903&SEO=clausuran-nueve-em>

[presas-agricolas-en-costa-rica-por-covid-19](#)

要約

6月17日、コスタリカ公安省含む治安当局は、国内北部の農業関係の9つの企業の営業停止、同様に13社に衛生面での改善を命じたことを発表した。

今回の一連の調査のなかで、労働現場の新型コロナウイルス感染対策ガイドラインの遵守状況だけでなく、外国人労働者466名の就労状況も確認されていることにより、これまでに少なくとも20名の不法就労者が摘発されている。

番号 60 コスタリカ

El País(コスタリカ紙) (2020年6月19日付)「**Costa Rica suspende reapertura y nuevas medidas por aumento de casos Covid-19**」

場所 URL

<https://www.elpais.cr/2020/06/19/costa-rica-suspende-reapertura-y-nuevas-medidas-por-aumento-de-casos-covid-19/>

要約

6月19日、コスタリカ政府は国内での新型コロナウイルス感染者の増加を受けて(同日に新たに119名の感染が確認されたことにより、合計の感染者数は2,058名に達した)、増加の顕著な地域を中心に警戒度を高め、一般車両の通行可能な時間の制限を今年の聖週間(4月のイースター期間)並に厳格化するなどの対策を講じる旨を発表した。

他方、農牧省からは、感染源としてみなされがちな移民が労働者として働く国内の農園に関しては、これまで当局が調査を実施した109か所のうち、約80%において、衛生面や移住労働に関する規則を遵守した運営が確認されているとの発表があった。右の状況に関し、農牧省次官は、農牧畜産業における組織横断的な取り組みの成果であると強調した。

番号 61 コスタリカ・ニカラグア

Confidencial (ニカラグア紙: EFE 通信キャリー記事)(2020年6月25日付)「**Costa Rica descarta corredor humanitario para nicaragüenses durante pandemia**」

場所 URL

<https://confidencial.com.ni/costa-rica-descarta-corredor-humanitario-para-nicaragüenses-durante-pandemia/>

要約

2020年6月25日、コスタリカ政府は、同国内のニカラグア人人権擁護団体から要請されていた、ニカラグア国内の新型コロナウイルスの感染拡大から逃れてくる人々への人道的な受け入れ体制の整備の可能性を否定した。そのうえで、

今後も国連などと連携しながら厳格な国境警備を維持する姿勢を改めて示した。

コスタリカ政府の発表によると、新型コロナウイルスの感染拡大以降、ニカラグアとコスタリカ政府は国内で新型コロナウイルスの感染が確認された外国人数を日々発表して

いるが(3月6日に国内での最初の感染者が発見されて以降合計652名の外国人の感染が確認されている)、国籍の内訳までは公表していない。

番号 62	パナマ・コスタリカ・ニカラグア
Confidencial(ニカラグア紙)(2020年6月27日付)「 Migración deja entrar a nicas varados en Peñas Blancas 」	
場所 URL https://confidencial.com.ni/migracion-deja-entrar-a-nicas-varados-en-penas-blancas/	
要約 6月27日、ニカラグア移民局は、中米諸国が国境を閉鎖したことによりパナマでの労働や滞在継続が困難になった約120名のニカラグア人の帰国を発表した。 これらの人々は数か月間にわたる滞在を余儀なくされた後に、パナマ及びコスタリカの両国政府の協力により、2台のバスにより陸路路で移送され、道中の衛生管理や治安当局関係者の同行などが徹底された。彼らの多くが、パナマ国内での新型コロナウイルスの感染拡大を受け、同国での滞在を断念した人々だった。 ニカラグアとの出入国管理所が位置するコスタリカ側のペニャス・ブランカスにおいて約20時間にわたる感染確認のための検査終了後、ニカラグアへの入国が許可された。 一部の帰国者からは匿名で、パナマとコスタリカが自分達の道中の健康面などを配慮してくれたのに対し、母国ニカラグアへの入国時の当局からの扱いが劣悪だったことへの非難の声があがった。	

番号 63	パナマ・コスタリカ・ニカラグア
Voz de América (地域国際紙)(2020年6月27日付)「 Costa Rica establece regla para el paso de nicaragüenses que retornan a su país desde Panamá 」	
場所 URL https://www.voanoticias.com/centroamerica/costa-rica-caravanas-migrantes-cruce-coronavirus	
要約 コスタリカ移民局(DGME)は、依然としてコスタリカ政府は新型コロナウイルスの感染拡大の防止を目的とした国境閉鎖を継続中ではあるものの、例外措置の一つとして、ニカラグアへの直接帰国を前提とするパナマからのニカラグア人の移送支援体制を整備することを発表した。 同移民局は、既にその帰還プロセスは、6月26日にコスタリカとパナマの両国政府の連携によりパナマからニカラグアへの帰国を望んでいた116名のニカラグア人の移送が行われた際に実施済みであると強調した。同帰還プロセスにおいて、移動費用は各個人が負担し、国境間は当局の用意したバス内での集団移動が義務付けられ、道中は常に治安当局の監視車が伴走することになる。	

同移民局によると、パナマに就労目的で移動したものの、新型コロナウイルスの感染拡大により経済的に困窮し、本国への帰国を希望するニカラグア人が多数存在する。

番号 64	パナマ・コスタリカ・ニカラグア
Metro Libre(地域国際紙) (2020 年 7 月 2 日付)「 Migrantes nicaragüenses reciben ayuda humanitaria para regresar a su país 」	
場所 URL https://www.metrolibre.com/nacionales/175606-migrantes-nicarag%C3%BCenses-reciben-ayuda-humanitaria-para-regresar-su-pa%C3%ADs.html	
要約 1,180 名のニカラグア人がパナマからの帰国開始を待ちかねているなか、複数のパナマ国内の機関が彼らの合法的かつ円滑な帰国を果たすための支援を提供している。 例えば、パナマ国家市民保護システム(SINAPROC)は、2 名の緊急医療隊員と 15 組の救急及び人道支援物資一式を提供し、パナマ保健省も 2 台の救急車と医療関係者を配備している。 また、衛生当局も待機場所周辺の衛生管理に努めている。 検疫体制強化のためのガイドラインの一環として、全てのニカラグア人に対して検査が実施され、食糧なども供給されている。 現在、パナマ移民局は、これらニカラグア人移民の帰国の実施に向けた交渉をニカラグア及びコスタリカと進めている。	

番号 65	パナマ
CR Hoy (コスタリカ紙) (2020 年 7 月 6 日付)「 Panamá advierte de caravanas clandestinas de migrantes que buscarían pasar a Costa Rica 」	
場所 URL https://www.crhoy.com/nacionales/panama-advierde-de-caravanas-clandestinas-de-migrantes-que-buscarian-pasar-a-cost-a-rica/	
要約 パナマ移民局(SNM)は、同国から違法に出国し、コスタリカや北米を目指す移民集団が出現し始めることへの警戒感を強めている。そのため、国内の外国人に対し、唯一の合法手段はパナマ、コスタリカ及びニカラグアの 3 ヶ国の政府連携による人道的移送(前の週にパナマ国内に滞留している 1,180 名のニカラグア人に対して許可が下りた)であるとし、支払いの対価として他国への移送支援を行う違法業者とは接触しないよう呼びかけている。 人道的移送の対象者には、一日 100 名を目安に、衛生と治安が徹底された状況下での集団バス移動が提供され、同措置は 7 月 4 日から開始されている。 パナマからニカラグアへの帰国希望者は、まずパナマ移民局で申請を行い、同移民局は	

移送開始の 72 時間前までに希望者の情報(健康状態含む)をニカラグア政府と共有。ニカラグア政府は申請者の帰国を許可した後にコスタリカ政府と連携し、移送対象者の各国境通過時の健康診断の実施体制の整備などを要請。

7 月 6 日時点で、コスタリカ政府は国境閉鎖を 8 月 1 日まで継続することを発表している。

番号 66 コスタリカ・ニカラグア

Confidencial(ニカラグア紙) (2020 年 7 月 8 日付) 「**Los trabajadores agrícolas nicas en Costa Rica y la pandemia de covid-19**」

場所 URL

<https://confidencial.com.ni/los-trabajadores-agricolas-nicas-en-costa-rica-y-la-pandemia-de-covid-19/>

要約

3 月 19 日にコスタリカ政府が新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的とした国境閉鎖を開始して以降、本来はコスタリカで農作業に従事する予定だったニカラグア人の失業や、コスタリカの農業セクターにおける人手不足が顕在化している。

また、それまでは日常的に非合法に両国間を往来していた国境付近で暮らすニカラグア人の移動も、コスタリカ当局によるバリエード設置などの監視強化により防がれている。

コスタリカ農業・農産物協会は、コスタリカ国内で農産物の収穫作業に従事する労働者約 60%はニカラグア人をはじめとする外国人であり、今後数カ月間に必要な外国人労働者数は 7 万人以上であり、それが確保できない場合は損害が生じるとの試算を発表している。

ニカラグア国内での農作業における最低賃金がひと月に約 124 米ドルなのに対し、コスタリカで 438 米ドルとなっている。コスタリカ労働省は、現時点では同問題解決に向けたニカラグア政府との連携の動きがないことを明らかにした。

2020 年 6 月、コスタリカ政府は外国人労働者不足の解消を目的に、2016 年 1 月から 2020 年 1 月の間にたとえ不法であっても同国滞在を証明できる外国人に対し、1 年間の滞在を許可する DIMEX(外国籍住民 ID)の発給を実施する旨の政令を発出したが、それだけでは国内の人手不足の解消が困難であるため、現在同省は前述の期間中に「就労」の記録のある人々も同措置の対象に含めることを検討中。コスタリカ労働省は、国内の不法滞在または就労者の合法化が進めば、人手不足の産業での人材確保が図られるとの見解を示しつつ、また、この機会を活用しながら、農作業現場で度々見られる外国人労働者への搾取行為の減少も図るとしている。

番号 67 パナマ

Metro Libre(地域国際紙 : AFP 通信キャリー記事) (2020 年 7 月 9 日付) 「**Alertan grave riesgo de contagio de Covid-19 en centros de migrantes en Panamá**」

場所 URL

<https://www.metrolibre.com/nacionales/176204-alertan-grave-riesgo-de-contagio-de-covid-19-en-centros-de-migrantes-en-panam%C3%A1.html>

要約

国際的人権擁護機関である Centre for International Law and Justice(CEJIL)は、パナマとコロンビアの国境地帯に位置する移民保護施設における滞在者(アフリカ諸国やハイチ、キューバからの移民)の増加が、新型コロナウイルスへの感染リスクを高めていると警鐘を鳴らしている。これらの施設には現在約 1700 名が滞在しており、すでに 200 名近い感染者が確認されている。

米州人権裁判所(CIDH)は、2020 年 5 月時点でパナマ政府に対して同事態の改善を勧告していた。パナマ政府としては同勧告に従ってはいるものの、隣国コスタリカが新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした国境閉鎖措置を継続しているために、国内の保護施設における移民の密集が解消されないと主張している。

そのため、同国政府は国内に新たな施設の設置を検討する一方で、多国間での連携による問題解決の必要性を訴えている。

2020 年 6 月末時点でパナマ国内での新型コロナウイルス感染による死亡者数は 800 名を超えている。

番号 68 コスタリカ

La Vanguardia(地域国際紙: EFE 通信キャリー記事)(2020 年 7 月 17 日付)「**Migrantes varados en Costa Rica protagonizan disturbios en un albergue**」

場所 URL

<https://www.lavanguardia.com/vida/20200717/482347156646/migrantes-varados-en-costa-rica-protagonizan-disturbios-en-un-albergue.html>

要約

コスタリカ当局の発表によると、7 月 17 日に同国北部(グアナカステ県のラ・クルス市)に位置する移民保護施設において、コスタリカ滞在の長期化を余儀なくされている中米北部や北米を目指す移民の一部が抗議の一環として道路封鎖や、施設内の寝具などに火をつけるなどの暴動を引き起こした。

現在、同施設内には中南米大陸外からの 107 名の移民が滞在している。当局によると被害の規模は最小限に抑えられ、負傷者も発生しなかった。

同事態の発生後、コスタリカ政府はこれらの施設では移民が必要とする物資やサービスの大半が提供されており、今回の暴動は許容されるものではないとした。そのうえで、コスタリカ政府としては、今後も新型コロナウイルスの影響に伴う国境閉鎖措置により同国内での滞在長期化を余儀なくされる多様な国や地域からの移民への対話や説得を継続していく姿勢を示した。

番号 69 コスタリカ
El Mundo(コスタリカ紙) (2020 年 7 月 20 日付)「 Epsy Campbell: Nuestra prioridad es proteger la salud pública costarricense 」
場所 URL https://www.elmundo.cr/costa-rica/epsy-campbell-nuestra-prioridad-es-protger-la-salud-publica-costarricense/
要約 2020 年 7 月 20 日、コスタリカのエプシー・キャンベル副大統領は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の一環として北部で実施している様々な対策の成果の一つとして、これまで合計 1 万 8,107 名の外国人による不法入国(国境閉鎖中であるため)を防いだことを明らかにした。 また、そのために 309 キロメートルにわたるニカラグアとの国境線の警備に取り組んでいる治安当局関係者を労った。 そのうえで同副大統領は、コスタリカ政府としては国民の安全確保を第一に優先していることを改めて強調した。

番号 70 ニカラグア
Voz de América(地域国際紙) (2020 年 7 月 22 日付)「 La OPS pide entrar en Nicaragua ante falta de transparencia en cifras oficiales de COVID-19 」
場所 URL https://www.voanoticias.com/centroamerica/ops-pide-entrar-nicaragua-falta-transparencia-cifras-oficiales-covid19
要約 米州保健機構(PAHO)はニカラグアが同国内での新型コロナウイルスの感染状況を明らかにしていないことを受け、実態把握のための同国内での調査実施の許可を求めた。これに対し、ニカラグア政府は国内の医療体制の充実を喧伝し、感染をコントロールできていると反論した。 米州保健機構によると、ニカラグア政府は毎週同機構に対して新型コロナウイルスの感染状況に関する情報を提供しているものの、詳細に乏しいことが問題視されている。 7 月 22 日、ニカラグア政府はその時点での国内感染者数を 3,439 名、死亡者数を 108 名としていた。他方で、ある市民グループの独自調査では感染者数 8,508 名、死亡者数 2,260 名となっている。また、ニカラグア国内では新型コロナウイルスの感染状況に関し、政府見解に反するような意見を表明した 3 名の医者解雇が確認されている。

番号 71 コスタリカ・ニカラグア
La Vanguardia(地域国際紙: EFE 通信キャリー記事) (2020 年 7 月 24 日付)「 Nicaragua 」

envía policías a frontera con Costa Rica por 400 migrantes varados」
場所 URL https://www.lavanguardia.com/vida/20200724/482479235121/nicaragua-envia-policia-s-a-frontera-con-costa-rica-por-400-migrantes-varados.html
要約 7月23日、ニカラグア政府は、コスタリカとの国境地帯に位置するペニャス・ブランカスで足止めされている約400名のニカラグア人が、抗議の一環として物資輸送車の通行を妨害している事態を受け、現地に援軍として警察を派遣したことを明らかにした。コスタリカ国内に拠点を構えるニカラグア人権擁護センター(Cenidh)によると、パナマからコスタリカを通過してニカラグアとの国境まで移送された約400名のニカラグア人が、ニカラグア軍による足止めを受けている。 ニカラグア政府によると、入国のためには検査による陰性証明、感染者にみられる症状がないこと、ニカラグアまでの移送費用を支払うことなどが条件となっている。しかし、ニカラグアからの出国を求めるニカラグア人には無償で検査が提供されているにもかかわらず、帰国希望者に対しては同検査の実施のために150米ドル(ニカラグア人の平均月収額の約81%)の支払いを求めていることから、今回パナマから移送された人々の多くがその費用を工面できない事態となっている。中には前の週の15日水曜日から国境で滞留を余儀なくされている人々もいる。 同事態を受け、複数の人権団体が既に米州人権裁判所および国際連合人権高等弁務官事務所に訴え出ている。 パナマからのニカラグア人の移送に関しては、パナマ、コスタリカ、ニカラグアの3国間で既に協定が締結されている。

番号 72 コスタリカ・ニカラグア
Voz de America(地域国際紙) (2020年7月28日付)「“Todas las condiciones dadas para que haya una epidemia”: situación de nicaragüenses varados en frontera con Costa Rica」
場所 URL https://www.voanoticias.com/centroamerica/nicaragüenses-varados-en-frontera-entre-costa-rica-y-nicaragua
要約 400名を超えるニカラグア人が、コスタリカとニカラグア間の出入国管理所の位置するペニャス・ブランカスにおいて、ニカラグアによる入国許可が下りないことで野晒しに近い状態で滞留を強いられている。現地では日中に気温が非常に高くなったり、降雨があったりすることなどもあり、ニカラグア人の健康状態が危惧されている。ニカラグアは入国を求める人々に対し、検査実施による新型コロナウイルスに感染していないことの証明を義務付けている。

国境を警備するコスタリカの治安当局関係者やコスタリカ国内の NGO などから、滞留するニカラグア人に対し水や食料が配給されている。

国際連合人権高等弁務官事務所の中米・ドミニカ共和国支部は、同様の事態(国境で足止めされて母国に戻れない人々が発生している状況)がその他の域内諸国でも見られていることを、公式ツイッターを通じて発信した。同支部はそのメッセージ中において、各国による厳格な管理を肯定する一方、人権への配慮も必要であることを訴えた。

番号 73	コスタリカ・ニカラグア
Metrolibre(地域国際紙:AFP 通信キャリー記事) (2020 年 7 月 30 日付)「 Grupos internacionales claman ayuda para retorno de nicaragüenses varados en frontera 」	
場所 URL https://www.metrolibre.com/nacionales/177945-grupos-internacionales-claman-ayuda-para-retorno-de-nicarag%C3%BCenses-varados-en-frontera.html	
要約 複数の政治団体や人権団体が、コスタリカとニカラグアとの国境で滞留を強いられている数百名のニカラグア人への支援を呼び掛けた。その中でもニカラグア人権推進協会(La Asociación Nicaragüense Pro Derechos Humanos (ANPDH))は、国際的な組織による介入を求めている。 ニカラグア政府は、入国希望者に新型コロナウイルスに感染していないことの証明を求めているが、それに必要な検査の費用は各自の負担であるとし、コスタリカ国内での高額な検査費用がネックとなっている。 同事態を受け、ニカラグアの反体制派はコスタリカ国内の医療機関と接触し、検査実施に向けた道筋を模索している。	

番号 74	パナマ・コスタリカ・ニカラグア
Telemetro (パナマ紙:EFE 通信キャリー記事) (2020 年 7 月 31 日付)「 Otro grupo de nicaragüenses sale de Panamá rumbo a su país 」	
場所 URL https://www.telemetro.com/nacionales/2020/07/31/nicaragueenses-sale-panama-rumbo/3093584.html	
要約 7 月 31 日、パナマ移民局(SNM)は、新たに約 100 名のニカラグア人が、パナマから本国への帰途に就いたことを発表した。今回、対象となった集団は、パナマ、コスタリカ、ニカラグアの 3 国間協力による人道的移送支援の開始以降にパナマから出発した 11 番目のグループとなる。 7 月 1 日には、パナマ政府は同国内で帰国を希望しているものの、ニカラグアとの連携の欠如によりそれを果たせていなかった 1 千名を超えるニカラグア人に対し、2 つの臨時	

保護施設をコスタリカとの国境地帯に開設していた。また、ニカラグア政府が入国許可の条件として、各自による新型コロナウイルスに感染していないことの証明に必要な検査費用とパナマからの交通費の自己負担を課しているため、現在ニカラグアとコスタリカとの国境間において約 500 名のニカラグア人による滞留が発生してしまっている。

番号 75 コスタリカ・ニカラグア

DW (ドイツ紙) (2020 年 7 月 31 日付) 「Costa Rica hará test gratuitos de COVID-19 a nicaragüenses varados en la frontera」

場所 URL

<https://www.dw.com/es/costa-rica-har%C3%A1-test-gratuitos-de-covid-19-a-nicarag%C3%BCenses-varados-en-la-frontera/a-54387205>

要約

7 月 31 日、コスタリカ移民局は、コスタリカ国内の NGO や民間企業による支援を通じて、新型コロナウイルスへの感染確認のための検査費用を工面できずにニカラグアへの帰国を果たせず滞留している数百名のニカラグア人に対し、無償での検査が実施される予定であることを明らかにした。同移民局は、今回の検査対象者となるニカラグア人の中には、7 月 18 日から国境での足止めを余儀なくされている人々も含まれており、同事態は人道的危機だと訴えた。

番号 76 ニカラグア

EFE 通信 (2020 年 8 月 3 日付) 「Nicaragua anuncia el "ingreso ordenado y seguro" de los varados en la frontera」

場所 URL

<https://www.efc.com/efe/america/sociedad/nicaragua-anuncia-el-ingreso-ordenado-y-seguro-de-los-varados-en-la-frontera/20000013-4310884>

要約

8 月 2 日、ニカラグア政府は、2 週間近くコスタリカとの国境で足止めされていた数百名のニカラグア人が、コスタリカ国内の NGO や医療機関などの連携により実施された無償での PCR 検査により陰性証明を入手できた人々に対し、秩序と安全を十分に確保したうえでの帰国手続きを開始したことを明らかにした。

他方、コスタリカ側での検査を通じて 21 名の感染が確認されたため、これらの人々はコスタリカ国内の医療機関で治療を受けるべく移送された。

ニカラグア人の人権擁護団体、国際連合人権高等弁務官事務所、米州人権裁判所などは、現帰国希望者に対する現在のダニエル・オルテガ大統領率いるニカラグア政府の対応は、ニカラグア憲法及び国際法に違反していると非難している。

番号 77 コスタリカ

DW(ドイツ紙) (2020 年 8 月 4 日付)「Costa Rica recibe primer vuelo internacional con turistas」
場所 URL https://www.dw.com/es/costa-rica-recibe-primer-vuelo-internacional-con-turistas/a-54427040
要約 8 月 3 日、コスタリカは新型コロナウイルスの感染拡大防止のための国境閉鎖措置を講じて以降初となる、商業目的の国際航空便が運航を再開した(それまでは帰国希望者向けの臨時便は不定期に運航)。同便はスペインからのイベリア航空便。 コスタリカは 8 月 1 日から、欧州連合、英国及びカナダからの航空便の運航再開を許可している。 コスタリカ入国者は、新型コロナウイルスに感染していないことの陰性証明と、滞在中の感染の可能性を考慮した特別な保険への加入が義務付けられている。 コスタリカ観光庁の発表によると、3 日のイベリア便に搭乗していた乗客のうち、13 名が入国前の検査を実施していなかったため、コスタリカ到着後に空港にて検査を行った。 商業目的の国際航空便の定期運航再開の第一段階として、週 5 便の発着が予定されているが、これは本来の便数の 1%にしか過ぎない。

番号 78 コスタリカ
La Nación(コスタリカ紙) (2020 年 8 月 5 日付)「 Primeros viajeros a Costa Rica deben adquirir elevado seguro mientras Sugese aprueba nueva propuesta del INS 」
場所 URL https://www.nacion.com/economia/politica-economica/primeros-viajeros-a-costa-rica-deben-adquirir/PVNUKRQYXJA2FPQ332RZJH6EI/story/
要約 7 月 23 日にコスタリカ政府は欧州連合加盟国と英国及びカナダからの観光客の空路による入国再開(陸路や海路は引き続き閉鎖)を決定。8 月 3 日の同措置の開始予定を受け、コスタリカ移民局は各旅行者が入国を果たすためには、新型コロナウイルスへの感染を想定したコスタリカ保険公社(INS)の提供する特別な保険への加入が義務づけられることを明らかにした。しかし、その保険料が未成年者で 275.4 米ドル、70 歳以上で 964.9 米ドルと高額であるため、観光業界からは同国の観光における競争力低下を招くとして非難的となっていた。

番号 79 コスタリカ・パナマ
El País(コスタリカ紙) (2020 年 8 月 5 日付)「 Ante la llegada de las colectas de café y la

situación de las personas trabajadoras ngöbe-buglé」
場所 URL https://www.elpais.cr/2020/08/05/ante-la-llegada-de-las-colectas-de-cafe-y-la-situacion-de-las-personas-trabajadoras-ngobe-bugle/
要約 最近、コスタリカ国内のコーヒー農園やその他の農作業現場において、新型コロナウイルスの感染者の増加が確認されている。このようなセクターには他国からの移住労働者が多く従事しており、現在当局による労働現場の状況調査を通じて、そもそも衛生的に問題のある住環境や、違法な労働条件下での就労(賃金や労働時間)を強いられている人々が一定数存在していたことが明るみに出ている。 複数の移住労働者支援組織(国立大学や NGO 含む)は、今後コスタリカ国内でのコーヒーの収穫期を迎えるにあたって、例年なら特に国内中央部から南部にかけてのコーヒー地帯では先住民系パナマ人労働者が家族単位で一時的に移住し、約 1 万 2 千名がその収穫作業に従事するとしている。しかし、今年に限っては 8 月時点でコスタリカが依然として国境(陸路)を閉鎖中であるため、去る 6 月 6 日には今季のコーヒー収穫作業への従事者確保を見据え、保健省、生産者、移民局、公安当局などの要望が反映された、「新型コロナウイルスの感染拡大を受けてのコーヒー農園における移住労働者(主にノベ・ブグレ系先住民)の雇用契約に関する一般ガイドライン(LS-CS-015. Lineamientos generales para las fincas cafetaleras que contratan mano de obra migrante (Indígenas Ngöbe-Buglé) en el marco de la alerta por (COVID-19))」が発表されている。 その中には移住労働者の条件として二重国籍証(パナマ及びコスタリカ)の取得、入国後の 14 日間の隔離、日々の健康状態チェック、その他の移住労働者の人権を尊重した法や協定に基づく移住及び労働面での環境整備などが義務づけられることが盛り込まれている。しかしその具体的に実行手段や検証体制の在り方についての詳細は記述されていない。

番号 80 ホンジュラス
Hosteltur Latam (観光業界紙) (2020 年 8 月 5 日付) 「 Honduras autorizó el reinicio “gradual” de los vuelos desde el 10 de agosto 」
場所 URL https://www.hosteltur.com/lat/138453_honduras-autorizo-el-reinicio-gradual-de-los-vuelos-desde-el-10-de-agosto.html
要約 ホンジュラスは 8 月 10 日より、商業目的の国内航空便の運行を、そして同 17 日からは国際便の運行(空路による国境開放)を再開する。今後段階的に国内空港に発着する航空便を増やしていく予定。右方針は 8 月 4 日に同国政府が発表していた。 ホンジュラスにとって、3 月 16 日の国境閉鎖以降、帰国希望者などを対象とした人道

支援目的の臨時便を除き、約 5 カ月ぶりの空路での国境開放となる。

番号 81 ニカラグア

La Vanguardia (国際紙 : EFE 通信キャリー記事) (2020 年 8 月 7 日付) 「**Vuelven a Nicaragua 66 personas que pasaron varadas 4 meses en Islas Caimán**」

場所 URL

<https://www.lavanguardia.com/vida/20200807/482701536437/vuelven-a-nicaragua-66-personas-que-pasaron-varadas-4-meses-en-islas-caiman.html>

要約

8 月 7 日、新型コロナウイルス感染拡大の影響でカリブ海のケイマン諸島において約 4 カ月間の滞留を余儀なくされていた 66 名のニカラグア人が帰国を果たした。ニカラグア当局によると、各自がケイマン諸島政府の支援により PCR 検査を実施したことで、陰性証明を入手することができた。一団は匿名の寄付によって運行されたチャーター機に搭乗し、ケイマン諸島からの直行便で帰国した。

既にパナマなどからもニカラグア人の帰国が果たされているものの、一部支援団体の試算では、依然として国外での滞留を余儀なくされているニカラグア人は 400 名近く存在するとされている。

番号 82 コスタリカ・キューバ

Diario de Cuba(キューバ紙) (2020 年 8 月 12 日付) 「**'La ACNUR nos ha tratado como seres humanos de segunda': cubanos varados en Costa Rica piden ayuda**」

場所 URL https://diariodecuba.com/cuba/1597262220_24296.html

要約

8 月 12 日現在、コスタリカとニカラグアとの国境付近に位置するコスタリカのペニャス・ブランカスにおいて、約 200 名のキューバ人移民が滞留を余儀なくされている。彼らは小型のテントや路上といった衛生面での問題のある環境下での生活を強いられている。当局によると中には 8 名の未成年者と 6 名の妊娠中女性、そして 15 名の高齢者が含まれていることが確認されている。

国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)や一部の支援団体により、最低限の食糧などは提供されているが、ニカラグアに入国し北米への旅路を継続するためにはコスタリカ国内で 150 米ドルほど要し、その負担がネックとなっている。

現在、本来はコスタリカへの移住や就労を予定していたキューバ人も、新型コロナウイルスの感染拡大による同国経済の低迷に伴い職住の機会を失ってしまうケースが確認されている。彼らの一部はニカラグアとの国境で滞留しているキューバ人集団との合流を検討している。

番号 83 コスタリカ
El País(コスタリカ紙) (2020 年 8 月 16 日付)「 Costarricenses no realizarán cuarentena si presentan prueba negativa de COVID-19 a su regreso al país vía aérea 」
場所 URL https://www.elpais.cr/2020/08/16/costarricenses-no-realizaran-cuarentena-si-presenta-n-prueba-negativa-de-covid-19-a-su-regreso-al-pais-via-aerea/
要約 コスタリカ政府は、それまで全てのコスタリカ人又はコスタリカで住民登録又はその他の滞在許可が下りている外国人に対して帰国後の 14 日間の隔離を義務付けていた政令 42238-MGP-S 及び 42513-MGP-S を、政令 42527-MGP-S を通じて改定した。右改定による措置は既に 8 月 14 日から有効で、「コスタリカ保健省の指定する国から空路で入国したコスタリカ人が、帰国直前にその指定国で 14 日間以上滞在し、そのうえで PCR 検査の陰性結果が確認された場合」に、帰国後の 14 日間の隔離が義務づけられなくなる。 現在(8 月 16 日時点)、コスタリカ保健省が前述の帰国後の隔離を免除するケースとして指定している国は、ドイツ、オーストリア、ベルギー、ブルガリア、デンマーク、スロバキア、スロベニア、スペイン、エストニア、フィンランド、フランス、ギリシャ、ハンガリー、アイルランド、アイスランド、イタリア、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルグ、マルタ共和国、モナコ公国、ノルウェー、オランダ、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、英国、チェコ、キプロス共和国、サンマリノ、スウェーデン、スイス(、バチカン市国などの欧州諸国(スペイン語名でのアルファベット順)、及びオーストラリア、カナダ、日本、ニュージーランド、タイ、シンガポール、韓国、ウルグアイ、中国(同上)となっている。 対象者は、入国時に直前の滞在国などを申告する健康証明書(el formulario Pase de Salud) の提出が義務付けられる。在留資格を保有する外国人の場合、身分証や社会保障費の納付の証明の提示も求められる。外国人ではあるものの、コスタリカ人の近親者(親、兄弟、配偶者、未成年の子女など)がいる場合、その血縁や婚姻関係の証明も必要となる。

番号 84 コスタリカ・ ニカラグア
El País(コスタリカ紙) (2020 年 8 月 18 日付) 「 La pandemia COVID-19 impacta a las familias inmigrantes en Costa Rica 」
場所 URL https://www.elpais.cr/2020/08/18/la-pandemia-covid-19-impacta-a-las-familias-inmigrantes-en-costa-rica/
要約 コスタリカ国内では伝統的に農業、家庭内労働、飲食店などのサービス業に多くのニカラグア人を中心とした中米からの移住労働者が従事している。 しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うコスタリカ国内の経済活動の制限、同国

及びニカラグアの国境閉鎖措置(コスタリカは3月17日以降)や、国内に住民登録している外国人の出国制限(3月25日以降。出国した場合に在留資格が自動的に失効)により、コスタリカ国内で失業し困窮状態にありつつも母国の家族との再会も困難な人々が発生している。また、不法滞在者の場合、政府が実施している市民向け経済支援である「保護給付金(Bono Proteger)」の対象外となっている。

一部の人々は市民団体や教会からの支援や寄付によってどうにか生計を維持している状況。ニカラグアでの感染状況がさらに危機的であるとされているなか、コスタリカで出稼ぎしている家族の感染、失業、強制送還は本国の家族をさらなる窮地に追いやりかねない。

だからこそ、たとえ不法滞在であっても、危機的状況にある家族がコスタリカ政府からの支援が得られる体制を整備すべきである。そのためには関係当局にしかるべく予算や権限、必要物資などを付与すべきである。

去る6月16日、コスタリカ政府は政令42406-MAG-MGPにより、農作業に従事している不法滞在者の合法滞在化措置を発表したが、その手続きに60米ドルを要するため、対象者にとっては負担となっている。

番号 85 コスタリカ・パナマ

El Mundo(コスタリカ紙) (2020年8月19日付)「**Indígenas Ngöbe-Buglé cosecharán café costarricense bajo estricto protocolo sanitario**」

場所 URL

<https://www.elmundo.cr/costa-rica/indigenas-ngobe-bugle-cosecharan-cafe-costarricense-bajo-estricto-protocolo-sanitario/>

要約

コスタリカ農牧省は、今季の国内中央部から南部にかけてのコーヒーの収穫期に、厳格な衛生基準を設けたうえで、コスタリカ・パナマの二国間の関係当局、コスタリカ・コーヒー協会、コーヒー生産者などの間での連携を通じて、ノベ・ブグレ族をはじめとする先住民系パナマ人労働者の受け入れを実施することを発表した。11月から1月にかけての収穫作業の最盛期には、約7万人の移住労働者の流入が予測されている。

今回、義務化されるのは、健康証明書の携行、入国前のパナマ国内での感染確認検査の実施、国境でのコスタリカ保健当局によるさらなる健診、コスタリカ国内での就労先と契約者名の提示、入国後の滞在先での雇用主の管理下での14日間の隔離などとなっている。一連の義務のうち、不履行が一つでも確認されれば、強制送還の対象になりうる。

滞在先でも、農園主など雇用主は感染防止のための密集回避や毎日の健診などの徹底が求められる。また、それらと同時に、衛生当局による現場への立ち入り調査も実施される予定。

番号 86 コスタリカ

EFE 通信(国際紙)(2020 年 8 月 19 日付)「Costa Rica anuncia la apertura para algunos vuelos desde Estados Unidos」

場所 URL

<https://www.efe.com/efe/america/economia/costa-rica-anuncia-la-apertura-para-algunos-vuelos-desde-estados-unidos/20000011-4323242>

要約

8 月 19 日、コスタリカ政府は 9 月 1 日より週 6 便のペース(首都サンホセに 4 便、第二の都市リベリアに 2 便)で米国からの定期航空便の運航を再開する予定であることを明らかにした。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う国内観光業の打撃を軽減する策の一環と位置付けている。

コスタリカ観光庁によると、今回の運行再開の対象はニューヨーク州、ニュージャージー州内に位置する空港発の便となるが、コスタリカに入国可能なのは前述の 2 州に加え、ニューハンプシャー州、メイン州、バーモント州、コネティカット州在住者に限られる。

搭乗者は運転免許証などで在住している州を証明することが義務付けられる。コスタリカは既に 8 月 1 日より、欧州諸国とカナダからの商業目的の定期航空便の運航を再開している(欧州に関してはマドリッド便とフランクフルト便が運航再開)。

8 月 19 日時点で入国が許可されているのは、欧州連合加盟国、英国、カナダ、日本、タイ、中国、オーストラリア、ニュージーランド、ウルグアイの計 44 カ国のいずれかの国籍保有者となっている。

コスタリカへの入国希望者は、搭乗前の 48 時間以内の新型コロナウイルスの感染確認検査を実施し、陰性であることを証明しなくてはならない。

番号 87 コスタリカ・キューバ

Diario de Cuba(キューバ紙)(2020 年 8 月 20 日付)「Costa Rica otorga refugio a 32 cubanos varados en la frontera con Nicaragua」

場所 URL https://diariodecuba.com/cuba/1597921781_24461.html

要約

8 月 20 日現在、新型コロナウイルスの感染防止措置として中米諸国が国境を閉鎖しているなか、コスタリカとニカラグアとの国境付近に、米国を目指す約 300 名のキューバ人移民が滞留している。その大半は 3 月のコスタリカの国境閉鎖前に既に同国に入国していた。

コスタリカ移民局(DGME)は、その一部の 32 名に対し難民認定を行ったことを発表した。同移民局による通常の難民認定手続きでは、審査のための面接実施までに申請から一年近くを要する場合もあり、かつ一般的にその認定率も低いことから、今回の認定はその審査過程の不明瞭さも含め異例といえる。

同移民局は、今回一部のキューバ人移民が異例の早さで難民認定されたことの主な理由として、彼らが野外において新型コロナウイルスの感染防止に適さない衛生状態

での生活を余儀なくされていたことを挙げた。

現在、その他数百名のキューバ人が首都サンホセの移民局において難民申請中とされている。

番号 88 コスタリカ・パナマ

La Estrella de Panamá (パナマ：EFE 通信キャリー記事) (2020 年 8 月 22 日付)

「**Migrantes haitianos salen de un albergue en Costa Rica en busca de seguir su ruta**」

場所 URL

<https://www.laestrella.com.pa/internacional/america/200821/migrantes-haitianos-salen-albergue-costa-rica-busca-seguir-ruta>

要約

3 月にコスタリカ政府が国境閉鎖措置を実施して以降、ハイチ人移民が同国内の移民保護施設での待機を余儀なくされていた。その一部である約 90 名のハイチ人移民が、当局による制止を振り切り、コスタリカ南部のパナマとの国境付近に位置する保護施設を出発して北米を目指す旅路を再開した。彼らはコスタリカを通過するためのコスタリカ政府による通行許可証は所持しているものの、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、当局はこれら北米を目指す移民に保護施設での待機を求めている。

現在、コスタリカ北部のニカラグアとの国境付近に位置する別の保護施設では約 100 名のハイチ人移民が滞在中。

当初、今年の 3 月中にはパナマから約 2 千名規模のハイチ人含む他大陸からの移民の入国が予定されていたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴う中米諸国の国境閉鎖に伴い、その通行が中断されていた。

この数か月間、強行にパナマ国内の移民保護施設をあとにするハイチ人移民が増加し続けており、7 月 20 日には、コスタリカ移民局はパナマからの入国を要求するハイチ人移民 38 名の受入を実施していた。

番号 89 コスタリカ

Voz de América (地域国際紙) (2020 年 8 月 24 日付) 「**Costa Rica: monitorean migrantes haitianos que intentan cruzar frontera norte**」

場所 URL

<https://www.voanoticias.com/centroamerica/costa-rica-autoridades-migratorias-monitorean-migrantes-haitianos>

要約

8 月 21 日に、コスタリカ移民局や治安当局による説得(道中の新型コロナウイルス感染の可能性や、他の中米諸国も国境を閉鎖していることなどに言及しながら)を振り切ってコスタリカからの出国を図るべく北上を開始したハイチ人移民集団に対し、その道中に想定されるあらゆる危険を鑑み、治安当局が彼らを監視しつつ同行することとなった。

公式発表によると、同ハイチ人移民集団は、年始以降の数カ月間にコスタリカとパナマの二国間協定によりコスタリカへの入国を果たした人々で構成されており、入国後は新型コロナウイルス感染拡大防止を理由とした国境閉鎖の影響を受け、当局が設置した保護施設(地域の医療機関や赤十字などの協力による衛生や医療面での環境が整備されていた)での滞在を続けていた。

番号 90 コスタリカ
Diario Las Américas(地域国際紙:AFP 通信キャリー記事)(2020 年 8 月 26 日付)「 Costa Rica anuncia "apertura controlada" pese a fuertes contagios de COVID-19 」
場所 URL https://www.diariolasamericas.com/america-latina/costa-rica-anuncia-apertura-controlada-pese-fuertes-contagios-covid-19-n4205829
要約 8 月 26 日、コスタリカのカルロス・アルバラード大統領は、8 月 31 日から 9 月 8 日にかけて、然るべき制限下でのあらゆる経済活動の再開(観光含む)に向けての環境を整備し、その後 9 日から 9 月 30 日まで関連の緩和措置を実施することを発表した。 その一環として、観光客による入国条件の緩和を講じる予定。それに先駆け、この 8 月から新型コロナウイルスの感染拡大防止のための国境閉鎖以降、初の商業目的の航空便(スペインや米国からの定期便)の運航を再開していた(それまでは国外からコスタリカ入国を希望するコスタリカ人や在留資格保有者を対象とした臨時便は存在)。 その他の商業活動も営業時間や収容に関する制限を一時的に緩和し、状況次第では再度厳格化される可能性についてもアルバラード大統領は言及した。 8 月 26 日時点で、コスタリカ国内では 3 万 6,307 人の感染と、386 人の死亡者が確認されていた。また、国内失業率も、4 月から 6 月にかけての第 2 四半期間に 12%から 24%に悪化していた。

番号 91 コスタリカ
Infobae(地域国際紙:EFE 通信キャリー記事)(2020 年 8 月 27 日付)「 Costa Rica reactiva el turismo de reuniones y amplía los vuelos desde EE.UU. 」
場所 URL https://www.infobae.com/america/agencias/2020/08/27/costa-rica-reactiva-el-turismo-de-reuniones-y-amplia-los-vuelos-desde-eeuu/
要約 8 月 27 日、コスタリカ政府は米国からの商業目的の航空便の増発を発表した。同日時点で国内での新型コロナウイルスの感染者は合計 3 万 7,292 人、死亡者は 397 人が確認されている。 コスタリカ観光庁によると、9 月 1 日より、メリーランド州、バージニア州、及びコロ

ンビア特別区からの航空便の発着が再開し、同様に 9 月 15 日までにペンシルバニア州、マサチューセッツ州、そしてコロラド州からの便も加わる予定となっている。

これまでに、既にニューヨーク州、ニュージャージー州、ニューハンプシャー州、メイン州、バーモント州、コネティカット州からの商業便が再開されていたため、これで合計 12 州(11 州と 1 特別区)からの航空便が利用可能となる。

今回の米国からの増便に伴い、入国時の制限内容が一部変更された。これまでは出国前の 48 時間以内の感染確認検査の実施が義務付けられていたが、今後は 72 時間以内までと変更される。

番号 92	パナマ
La Estrella de Panamá (パナマ紙) (2020 年 8 月 29 日付) 「 Más de 2000 migrantes varados en Panamá a causa de la pandemia 」	
場所 URL https://www.laestrella.com.pa/nacional/200829/panama-hay-aproximadamente-2-500-migrantes-varados-acusa-pandemia	
要約 新型コロナウイルスの感染拡大による多くの国の国境閉鎖措置により、現在(8 月 29 日時点)パナマ国内では出国を希望する移民約 2,500 名が同国内での待機を余儀なくされている。彼らの大半はコロンビア又はコスタリカとの国境付近での滞留を続けている。 パナマ当局は、コロンビアとの国境付近のダリエンに、収容規模 400 名の新たな移民保護施設を開設し、一部の人々の移送を開始する予定である。これらの施設では、人権の尊重や感染予防のための衛生面や医療面での配慮が徹底されることになっている。	

番号 93	コスタリカ
La Vanguardia(国際紙 : EFE 通信キャリー記事) (2020 年 8 月 29 日付) 「 Autoridades de Costa Rica trasladan caravana de haitianos a un albergue 」	
場所 URL https://www.lavanguardia.com/vida/20200829/483177055631/autoridades-de-costarica-a-trasladan-caravana-de-haitianos-a-un-albergue.html	
要約 8 月 29 日、コスタリカ当局は現在中米諸国が国境閉鎖措置を継続しているにもかかわらず、米国への移動を再開したいと要求するハイチ人移民 97 名を、パナマとの国境付近の南部の保護施設からニカラグアとの国境付近の別の保護施設に移送した。 同ハイチ人移民集団は、南部からの約 80 キロメートルは徒歩で移動し、道中は地元有志の提供する施設に宿泊していた。その後、コスタリカ当局が彼らに対し一時的に国内での移動と就労を認める許可証を発給することを約束したことから、かかる手続きを実施した	

人々はニカラグアとの国境付近まで、国家緊急対策委員会(CNE)の手配したバスでの移動を行った。

EFE 通信の取材に対し、同ハイチ人移民集団は、彼らの大半が昨年 12 月にチリを出発し、陸路で米国に向かう途中、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うコスタリカの国境閉鎖により、この 3 月からコスタリカ国内での滞在を続けていると答えた。

中米諸国は国境を閉鎖中であるものの、同ハイチ人移民集団は新型コロナウイルスに感染していないことを証明できれば、国境を通過できる可能性が残っていると信じている。現在、コスタリカ国内の移民保護施設には、約 300 名のハイチ人移民が滞在中とされている。

コスタリカとパナマの協定により、当初は 2020 年 3 月に約 2 千名のハイチ人の当局の管理下での移動の実施が予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて中断を余儀なくされていた。

番号 94	ホンジュラス
Televisión Nacional de Honduras(ホンジュラス紙) (2020 年 8 月 30 日付) 「 Primeras Damas de la región expondrán en panel Migración en Tiempo de Pandemia 」	
場所 URL https://tnh.gob.hn/2020/08/30/primeras-damas-de-la-region-expondran-en-panel-migracion-en-tiempo-de-pandemia/	
要約 ホンジュラス政府は、9 月 1 日から 2 日にかけて、同国政府の主催により開催される第 2 回「新たな挑戦と希望に関する国際移民会議(今回はバーチャル方式での開催)」の枠組みの中で実施される、「パンデミックにおける移住」に関するパネルのホストを、アナ・ガルシア大統領夫人が務めることを発表した。 同パネルには同じく「国家元首又は政府代表配偶者連盟」に名を連ねるアルゼンチンのファビオ・ジャネス大統領夫人、ブラジルのミシェル・ボルソナーロ大統領夫人、コロンビアのマリア・フリアナ大統領夫人、エクアドルのロシオ・ゴンサレス大統領夫人、パナマのジャスミン・コロロン大統領夫人、及びパラグアイのシルバナ・アブド大統領夫人らも参加する予定となっている。 同会議には、その他域内諸国の政府関係者や、国際連合ラテンアメリカ・カリブ経済委員会などの国連関係者も参加予定。 「パンデミックにおける移住」に関するパネルでは、各国がコロナ禍で経験した移民管理における取り組み、連携、成功例の詳細について発表予定。その中で、今般の新たな状況下での多様な移民(帰還民、通過移民など)問題に対応していくための体制づくりが目指される予定。	

番号 95	パナマ
-------	-----

ロイター通信 (国際紙) (2020 年 9 月 4 日付) 「**Detienen a 36 migrantes haitianos que abandonaron albergue en Panamá**」

場所 URL

<https://lta.reuters.com/article/inmigracion-panama-coronavirus-idLTAKBN25V1NH>

要約

9 月 3 日、パナマの国境警備当局は、国内の移民保護施設を抜け出して米国への移動を再開しようとした 36 名のハイチ人移民をコスタリカとの国境付近で拘束したことを発表した。

同 36 名は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う周辺諸国の国境閉鎖により、現在コスタリカとの国境から 100km 地点に位置する移民保護施設での滞在を余儀なくされている合計 639 名の移民の一部である。国境警備当局によると、同 36 名は施設へ戻ることを拒否しただけでなく、暴力行為をとったことから拘束された。

現在、パナマ国内にはハイチ人移民だけでなく、インドやアフリカ諸国からの移民約 2,500 名が滞留しているとされている。

番号 96 コスタリカ

El Delfino (コスタリカ紙) (2020 年 9 月 7 日付) 「**Residentes morosos con la CCSS podrán entrar a Costa Rica, pero tendrán 22 días para ponerse al día**」

場所 URL

<https://delfino.cr/2020/09/residentes-morosos-con-la-ccss-podran-entrar-a-costa-rica-pero-tendran-22-dias-para-ponerse-al-dia>

要約

9 月 7 日、コスタリカ政府は、8 月 14 日以降、国内での在留資格を持つ外国人の入国の際に条件の一つとして、「社会保障費の納付証明の提示」を設けていたことについて、例え未納が確認された場合でも 22 日以内の納付を条件に入国を許可するための政令を制定したことを発表した。

今回の改定は、実際に在留資格保有者の入国時に、相当数の未納者が確認されたことを受けて行われた。

番号 97 コスタリカ・パナマ

La Prensa(地域国際紙) (2020 年 9 月 9 日付) 「**Sistema Nacional de Migración expide 235 permisos a indígenas para trabajar en fincas de Costa Rica**」

場所 URL

<https://www.prensa.com/sociedad/sistema-nacional-de-migracion-expide-235-permisos-a-indigenas-para-trabajar-en-fincas-de-costa-rica/>

要約

パナマ移民局は、8 月 24 日から 9 月 4 日にかけて、ノベ・ブグレ区域内の先住民系の

人々に対し、隣国コスタリカのコーヒー農園で就労するために必要な許可証 235 名分を発給したことを明らかにした。同移民局は、今後コスタリカ国内でコーヒー収穫の最盛期を迎えるにあたり、許可証の発給増加が予測されることから、国境での新型コロナウイルス感染対策を目的とした防疫体制の整備(感染予防及び追跡調査)のために様々な取り組みを実施してきたと説明した。

コスタリカとパナマの二国間で設けられたガイドラインによると、コスタリカでの就労希望者は、出入国管理所においてパナマ保健省の発給する二国間共通の健康証明書及びコスタリカ国内での就労及び滞在先の詳細情報の提示が義務付けられる。

他方、コスタリカ国内で彼らを雇う各農園主も、雇用契約を結んだ労働者のリストの開示が義務付けられる。

番号 98 **グアテマラ**

国連ニュース(国際紙) (2020 年 9 月 11 日付) 「**La OIM lanza campaña contra la marginación de los migrantes retornados a Guatemala durante la COVID-19**」

場所 URL <https://news.un.org/es/story/2020/09/1480402>

要約

国際移住機関(IOM)は、新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、国外から帰国したグアテマラ人が差別や偏見の対象とならないように、SNSを含むあらゆる媒体を通じて、新型コロナウイルスに関する正確な情報や予防法などの情報発信を主体としたキャンペーンを展開することを発表した。国内の先住民系コミュニティを考慮し、同情報は多様な言語で発信される予定。

番号 99 **コスタリカ**

Confidencial(ニカラグア紙) (2020 年 9 月 17 日付) 「**Policía de Costa Rica captura a red que estafaba a migrantes nicaragüenses**」

場所 URL <https://confidencial.com.ni/policia-de-costarica-captura-a-red-que-estafaba-a-migrantes-nicaraguenses/>

要約

9 月 17 日、コスタリカ北部のニカラグアとの国境付近に位置するロス・チレスにおいて地元治安当局は、ニカラグア人に対してコスタリカ国内で就労及び国境を自由に往来できる偽の身分証を打っていたニカラグア人組織(コスタリカ在留資格を持つ 3 名で構成)を摘発した。同身分証は一部 130~200 米ドルで取引されていた。コスタリカ移民局によると、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、同様の偽の身分証を売りつける組織が急増しているという。中には公式のものとして騙されて購入してしまった被害者も確認されている。

コスタリカ政府による 3 月 19 日からの国境閉鎖以降、9 月 15 日までに合計 1 万 9,635

名が国境で入国拒否を受けており、うち 1 万 8,990 名をニカラグア人が占めている。また、違法な二国間移動を斡旋する組織の摘発のために、国境沿いの警備体制が強化されている。

番号 100	グアテマラ・エルサルバドル
Estrategia y Negocios(国際紙) (2020 年 9 月 17 日付)「 Guatemala y El Salvador reabren sus fronteras tras 6 meses de inactividad 」	
場所 URL https://www.estrategiaynegocios.net/lasclavesdeldia/1409224-330/guatemala-y-el-salvador-reabren-sus-fronteras-tras-6-meses-de-inactividad	
要約 グアテマラ政府及びエルサルバドル政府は、それぞれ 9 月 18 日と翌 19 日に国境の開放再開を予定していることを既に発表している。グアテマラの場合は陸路と空路の双方、エルサルバドルの場合は空路のみが対象となっている。 両国にとって、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う 3 月の国境閉鎖以降、約半年ぶりの国境開放となる。グアテマラ及びエルサルバドルは入国者に対し、出発前の 72 時間以内の PCR 検査の実施と、陰性証明を義務付けている。 グアテマラの首都近郊に位置するラ・アウロラ国際空港では、保健当局が PCR 検査を実施せずに入国する人々(強制送還者など)を想定し、2 万の検査キットを既に配備している。空路での入国の場合、PCR 検査実施を拒否した場合には、保健当局の監視下での 14 日間の隔離も選択可能となっている。 また、陸路でグアテマラに入国する際には、グアテマラ人に関しては検温のみ、外国人は空路での入国と同様に PCR 検査による陰性証明が義務付けられる。 中米では、既にコスタリカとホンジュラスは国境開放を再開(それぞれ 8 月 1 日と 8 月 10 日より空路での出入国再開)している。パナマに関しては現時点(9 月 18 日)で、9 月 22 日の空路での国境の開放再開を予定している。	

番号 101	エルサルバドル
El Diario El Mundo(エルサルバドル紙) (2020 年 9 月 19 日付)「 Ya se tiene fecha para la reapertura de fronteras en El Salvador 」	
場所 URL https://diario.elmundo.sv/ya-se-tiene-fecha-de-para-la-reapertura-de-fronteras-en-el-salvador/	
要約 9 月 19 日、エルサルバドル移民局は同月 21 日から、陸路での国境開放の再開を実施することを発表した。しかし、19 日時点では空港内での措置と同様に、陸路での入国時に新型コロナウイルスへの感染確認検査の実施を義務付けるかについては明確にしていなかった。	

た。

また、21日以降、当分の間はエルサルバドル人及び同国での在留資格保有者のみ、陸路での入国が許可されることも明らかにした。

エルサルバドル政府は3月11日に国境閉鎖を発表した。同国の公式発表によると、9月19日までに国内での新型コロナウイルスへの感染者数2万7,428人、死亡者数808人が確認されている。

番号 102 エルサルバドル

Ameliarueda(地域国際紙)(2020年9月20日付)「**El Salvador cambia postura y exige presentar prueba Covid-19 para entrar al país**」

場所 URL

<https://www.ameliarueda.com/nota/el-salvador-postura-presentar-prueba-covid19-noticias-internacionales>

要約

9月15日、エルサルバドルのナジブ・ブケレ大統領は、これまで空路でのエルサルバドルへの帰国時に新型コロナウイルスへの感染確認のためのPCR検査を義務付けていなかった邦人及び同国に在留資格を持つ外国人に対しても、今後は出発前の72時間以内までの検査の実施と陰性証明を義務付ける方針であることを発表した。エルサルバドル政府は直前まで、邦人及び在留資格保有者には陰性証明を求めないとしていた。

また同国政府は、今後、出発地から新型コロナウイルスへの感染確認のための検査を実施していない乗客を搭乗させた場合、該当する航空会社は乗客1人当たり6,000米ドルの罰金の支払いを義務付けられることも併せて発表した。

エルサルバドルは9月19日に、3月の国境閉鎖以来、約半年ぶりとなる商業目的の国際航空便の運行を再開する予定。それまでは貨物便と、人道的支援を目的とした特別便の離発着のみが行われていた。

陸路による入国に関しては、これまでは物資輸送車両のみに制限されていたが、9月21日以降にはバスなどの国際公共交通を利用した入国も再開予定。

9月18日時点で、エルサルバドル国内では2万7,428名の感染と、808名の死亡者が確認されている。

番号 103 パナマ

La Estrella de Panamá(パナマ紙)(2020年9月20日付)「**Crece la cifra de extranjeros que abandona Panamá**」

場所 URL

<https://www.laestrella.com.pa/nacional/200920/crece-cifra-extranjeros-abandona-panama>

要約

パナマ国内での新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、年始からの8カ月間に多くの外国人が同国から出国している。特に3月から8月にかけて、米国人、コロンビア人、コスタリカ人、ニカラグア人などを中心に外国人3万4,154名がパナマから出国している。

パナマ移民局によると、同期間の外国人の出国者数57万1,733名に対し、入国者数は55万3,748名にとどまっている。パナマは3月(17日)の国境閉鎖以降、邦人の入国及び外国人の出国に関し、同国保健省の管理下で実施されている。

一方、パナマ国内で滞留を余儀なくされている約600名のベネズエラ人は国連に対し、彼らの帰国便を手配するようベネズエラ政府に働きかけることを要請していた。これを受け、ベネズエラ政府は当初、計3便の航空便を昨19日に運航させることを発表し、300名のベネズエラ人が帰国を果たす予定だったが、前日の18日に突如説明もないまま同航空便の運航はキャンセルされた。

現在コロンビアとの国境及びコスタリカとの国境付近には、約2,500名の移民が滞留している。パナマ治安当局は、新型コロナウイルスの感染拡大が収束した際に、これまでにない大規模な人口移動現象が発生することを危惧している。

番号 104 コスタリカ

La Nación(コスタリカ紙) ((2020年9月21日付)「**Situación migratoria ante la covid-19**」

場所 URL

<https://www.nacion.com/blogs/cafe-laboral/situacion-migratoria-ante-el-covid-19/UVHNHSRER5DWNNGN3JM35KWM4Y/story/>

要約

2020年3月6日にコスタリカ国内で初の新型コロナウイルス感染者が確認されて以降の入国管理の変化について振り返る。

1. コスタリカ移民局は3月18日に、新型コロナウイルス感染拡大を受けて一部業務の停止(新規のビザ申請を受理しないなど。パスポート発給や特別な移民への対応などは継続)を発表。
2. その後(19日)にコスタリカ政府は国境閉鎖を開始。コスタリカ人と同国での在留資格氏保有者による入国のみ許可。また、たとえ在留資格保有者であっても国境閉鎖中に出国した場合は資格が自動的に失効するために外国人住民に対して国内待機を要請。
3. それに伴い国内滞在の延期を余儀なくされた人々の合法的滞在期間及び就労期間の延長措置や、その他期限付きの証明書(無犯罪証明書など)の有効期間の延長措置などが講じられた。

コスタリカの段階的な国境開放の再開を前に、それに伴う今後の移民局の業務範囲や新たな対応などに注目が集まっている。

番号 105	ニカラグア
La Vanguardia(地域国際紙: EFE 通信キャリー記事) (2020 年 9 月 22 日付)「 Nicaragua espera a 312 nacionales que estaban varados en Panamá por pandemia 」	
場所 URL https://www.lavanguardia.com/vida/20200922/483616131568/nicaragua-espera-a-312-nacionales-que-estaban-varados-en-panama-por-pandemia.html	
要約 9 月 21 日、ニカラグア政府は、その前の週にパナマを出発した 312 名のニカラグア人が間もなく帰国する予定であることを明らかにした。同 312 名は新型コロナウイルスの感染拡大に伴うパナマの国境閉鎖措置により、同国での滞留を余儀なくされていた。ロサリオ・ムリージョ副大統領は、312 名全員が、既に新型コロナウイルスの感染確認検査を実施し、結果が陰性だったことも併せて発表した。 今回の帰国者を含めると、パナマで滞留した後に帰国を果たしたニカラグア人の数は 4、579 名に達する見込み。 当初、パナマでの滞留しているニカラグア人は 1 千名を超えないとみられていたが、ニカラグア、コスタリカ、パナマの 3 国間協力による 7 月の最初のグループの帰国以降、その数は堅調に増加している。 ニカラグア政府は、各国の国境閉鎖措置により、国外での滞留を余儀なくされていたニカラグア人のうち、9 月 18 日時点で合計 5 万 9,108 名が帰国を果たしたことを明らかにした。同国政府は当初、邦人による帰国も拒否していたが、非難を受けて 6 月に帰国を許可した。貴国を希望するニカラグア人は自費での感染確認検査の実施と陰性証明が求められている。その検査費用が帰国希望者のネックとなっており、これまで他国政府の支援などにより検査が実施されてきた例も確認されている。 ニカラグア政府の公式発表によると、これまでの国内で確認された新型コロナウイルスへの感染者数は 4,961 名、死亡者数は 147 名とされているが、市民監視団の独自調査では感染疑いのある人の数が 1 万 258 名、感染が原因と思われる死亡者数は 2,721 名となっている。 世界保健機関(WHO)や国連人権高等弁務官事務所(OHCHR)は、ニカラグア国内の新型コロナウイルス感染対策に対する危惧を表明している。	

番号 106	コスタリカ
Voz de América (地域国際紙) (2020 年 9 月 24 日付)「 Costa Rica abre sus fronteras a vuelos procedentes de México 」	
場所 URL https://www.voanoticias.com/centroamerica/costa-rica-turismo-mexico-vuelos	
要約 9 月 24 日、コスタリカ政府は 10 月 1 日からメキシコからの航空便の運行を再開す	

ること、及び同日にジャマイカ人による入国再開と米国からの便の増発も予定されていることを明らかにした。

これに伴い、コスタリカ政府が定める入国と衛生基準を満たしたメキシコ人とジャマイカ人による入国が許可されることになる。また、米国に関しては、カリフォルニア州及びオハイオ州在住者の入国も許可されることになり、これにより在住者によるコスタリカへの入国が許可される米国内の州は合計 21 となる。

コスタリカ政府によると、特定の国や地域からの入国を改めて許可する際には、対象地における新型コロナウイルスへの感染状況が、コスタリカと同水準かそれ以上に抑えられていることが判断基準となっている。

番号 107	ホンジュラス
DW(ドイツ紙) (2020 年 10 月 1 日付) 「 Honduras: nueva caravana de migrantes sale en plena pandemia 」	
場所 URL	https://www.dw.com/es/honduras-nueva-caravana-de-migrantes-sale-en-plena-pandemia/a-55113872
要約	9 月 30 日夜、ホンジュラスのサンペドロ・スーラから、数百名から 1 千名近くの人々から成る新たな移民キャラバンが、グアテマラに向けて出発した。同キャラバンはいくつかのグループに分散して移動しているとされている。当初、SNS 上の情報拡散を通じて 10 月 4 日に現地を出発することになっていたが、一部の人々が予定日を待ちきれずに動き出した形となった。その大半は、徒歩でグアテマラとの国境に向かっているとされている。 今回の移民キャラバンの発生は、2 週間前(9 月 18 日)のグアテマラによる国境の開放再開(陸路及び空路)を受けたもの。しかし、入国時の条件として身分証の提示だけでなく、PCR 検査を実施したうえでの新型コロナウイルスに感染していないことの証明が必要。この新たな移民キャラバンの発生を受け、現時点でメキシコ移民局は国境管理に関してグアテマラと同様の措置を講じないことを明らかにしている。

番号 108	ホンジュラス
El Mundo(コスタリカ紙) (2020 年 10 月 1 日付) 「 Caravana de migrantes procedente de Honduras entra en Guatemala 」	
場所 URL	https://www.elmundo.cr/mundo/caravana-de-migrantes-procedente-de-honduras-entra-en-guatemala/
10 月 1 日、前日にホンジュラスを出発した移民キャラバンの一部がグアテマラに到着し始めた。その大半は米国を最終目的地としている。	

グアテマラは既に 9 月 18 日より陸路での国境開放を再開しており、ホンジュラス人の入国の際には身分証又はパスポート(未成年者はパスポートが必須)及び、検査を実施したうえで新型コロナウイルスに感染していないことの証明書の提示が義務付けられる。 米国の国境管理当局(CBP)によると、今年 8 月に南部国境で拘束された不法移民の数は 4 万 9,594 人に上り、過去 5 年の 8 月の数値としては 2019 年に次いで高いものとなっている。
--

番号 109 コスタリカ
Semanario Universidad (コスタリカ紙) (2020 年 10 月 2 日付)「 Costa Rica permitirá vuelos desde todo Estados Unidos a partir del 1 de noviembre 」
場所 URL https://semanariouniversidad.com/pais/costa-rica-permitira-vuelos-desde-todo-estado-s-unidos-a-partir-del-1-de-noviembre/
要約 10 月 2 日、コスタリカ政府は 11 月 1 日より、米国の全ての都市からの航空便の運行を可能にすることを発表した。その前の 10 月 15 日には、フロリダ州、ジョージア州、及びテキサス州在住者のコスタリカへの入国が許可される予定。 米国からの旅行者の増加により、国内経済の再活性化、雇用状況の改善、外貨獲得などが期待されている。

番号 110 ホンジュラス
Diario El Mundo(エルサルバドル紙) (2020 年 10 月 4 日付)「 Honduras abrirá sus fronteras terrestres entre el 9 y 12 de octubre 」
場所 URL https://diario.elmundo.sv/honduras-abrira-sus-fronteras-terrestres-entre-el-9-y-12-de-octubre/
要約 10 月 2 日、ホンジュラス移民局(INM)は、観光業をはじめとする経済の再活性化を図るために 10 月 9 日から 12 日にかけて地上の国境(エルサルバドル、グアテマラ、ニカラグアと共有する)を開放することを発表した。 同移民局によると、今回の陸路の国境開放は、主に商業活動や投資目的の出張者や観光客を対象にしている。さらに同移民局は 10 月末にはすべての国境の全面開放を予定していることも明らかにした。 ホンジュラスへの入国者は、同国の入管法が条件として求めるマスク着用と新型コロナウイルスに感染していないことの証明(陰性証明)の提示が義務付けられる。 3 月中旬の初の国内での感染者発見以降、これまで(10 月 4 日時点)に 7 万 8,788 人の感染と、2,399 人の死亡、そして 2 万 9,187 人の回復者が確認されている、

他方、隣国グアテマラに関しては、ホンジュラスに先んじて去る 9 月 18 日に全ての国境の開放を再開している。グアテマラでは空路での入国の場合、出発前の 72 時間以内に検査実施を通じて陰性であることを確認する必要がある。陸路での入国の場合、外国人のみに同様の検査結果の提示が求められ、グアテマラ人に関しては検温及びその後の保健当局による追跡調査のための登録のみが義務付けられている。

番号 111	ホンジュラス
DW(ドイツ紙) (2020 年 10 月 5 日付) 「 Caravana de migrantes genera tensión entre Guatemala y Honduras 」	
場所 URL https://www.dw.com/es/caravana-de-migrantes-genera-tensi%C3%B3n-entre-guatemala-y-honduras/a-55156966	
要約 ホンジュラスで新たに発生した移民キャラバンが、同国政府とグアテマラ政府間に緊張を生じさせている。 10 月 1 日、1 千名を超えるホンジュラス人移民が米国に向かうために違法な形でグアテマラとの国境を通過。 ホンジュラ政府が同国移民局の記録を基に、これらの移民の約 83% に当たる 1, 043 人が既にホンジュラスに戻ったとの認識を示す一方で、グアテマラ政府は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からホンジュラスに送還したのは 3, 384 人であると主張している。 ホンジュラス政府は、グアテマラ政府の発表した数に根拠がないことに遺憾の意を示す声明を発表。同時に国民向けには、児童を同伴させると米国への移動の際に有利に働くと説明する密入国斡旋業者(通称コヨーテ)に騙されないよう、注意喚起を行っている。	

番号 112	パナマ
El Estrecho Digital (国際紙) (2020 年 10 月 11 日付) 「 Nuevas restricciones anti-COVID de la Autoridad Marítima de Panamá 」	
場所 URL https://www.elestrechodigital.com/2020/10/11/nuevas-restricciones-anti-covid-de-la-autoridad-maritima-de-panama/	
要約 パナマ海運当局は、10 月 12 日以降のパナマ国内の港での積み荷作業や、港からパナマへの帰国を実施する船員(国籍問わず)の取り扱いについての新たなガイドラインを発表した。 同ガイドラインによると、9 月 23 日に発表された政令第 1089 号の内容に基づき、パナマ到着前の 48 時間以内の新型コロナウイルスへの感染確認検査の実施と陰性証明の提	

示が義務づけられ、同国保健省の定める防疫対策の遵守を条件に帰国後の隔離措置は免除されるとしている。入国時に陰性証明ができない者に関しては、入国手続き直前の簡易検査の実施が義務付けれることになるが、その費用は各自の自己負担となる。同簡易検査の結果が陰性の場合、同様に隔離措置は免除される。

他方、陽性反応が出た場合、まず 7 日間は保健省の指定する医療施設で隔離措置を講じた後に、改めて抗原検査を実施する。そのうえで、改めて陽性反応が出た場合、隔離期間が 14 日まで延長される。

番号 113	パナマ
Dimecuba(キューバ紙) (2020 年 10 月 14 日付)「 Estos son los requisitos establecidos para poder entrar a Panamá 」	
場所 URL https://www.dimecuba.com/revista/noticias-cuba/requisitos-entrar-panama/	
要約 去る 10 月 12 日より、パナマは国内の新型コロナウイルス感染拡大状況が最悪の時期を脱したとの判断から、国内の国際空港で 20 カ国 36 都市からの航空便の発着を開始する形で、国境の開放を再開している。 しかし、入国時には従来の規則(残りの有効期限が 6 か月以上のパスポートや出国便の航空チケットの提示など)だけでなく、以下の特別なガイドラインを設けている。 ・ 出発前 48 時間以内の PCR 検査または抗原検査の実施、及び新型コロナウイルスへの感染の陰性証明(入国前に検査を終えていない場合は、空港において自己負担で実施可能)。 ・ 陰性の証明と滞在中の衛生面での注意点の遵守を行えば、入国後の隔離は不要となる。	

番号 114	コスタリカ
El País(コスタリカ紙) (2020 年 10 月 16 日付)「 Costa Rica abrirá frontera aérea a todos los países en noviembre 」	
場所 URL https://www.elpais.cr/2020/10/16/costa-rica-abrira-frontera-aerea-a-todos-los-paises-en-noviembre/	
要約 10 月 16 日、コスタリカ政府は 11 月 1 日より、全ての国からの航空旅客便を受け入れることを発表した。これまでに、通常のコスタリカ訪問客の約 9 割を占めている国々(米国や EU など)に対しては既に旅客便の運航再開を許可していた。 同国政府の試算では、今回の規制緩和によって米国の全州からの航空便の運航が可能になることにより、8 万の雇用創出と 15 億米ドルの外貨獲得といった経済効果が見込まれ	

ている。同時に、観光客の増加が予測されるなかで観光業界に対しては引き続き徹底した防疫体制の維持を求めた。

10月16日時点では、全てのコスタリカへの入国者には、出発前72時間以内のPCR検査実施による陰性証明(今回の規制緩和により、コスタリカ人及び在留資格保有者に関しては、陰性証明をした場合に帰国後の14日間の隔離が求められなくなる)、同国保健省のウェブサイト上にある特別な問診票への回答、特別な保険への加入(訪問客対象)への加入が義務付けられている。

番号 115 メキシコ・ホンジュラス

La Prensa(ニカラグア紙) (2020年10月18日付)「**Honduras reanuda retornos terrestres desde migrantes México**」

場所 URL

<https://www.laprensa.com.ni/2020/10/18/internacionales/2735477-honduras-reanuda-retornos-terrestres-de-migrantes-desde-mexico>

要約

メキシコ移民局によると、同局が保護するホンジュラス人移民の数が増加している。ホンジュラス政府は同事態を受け、10月19日以降に改めて本国への移送を促進させる方針を明らかにした。

本件に関し、前の週にホンジュラス、グアテマラ、メキシコの3カ国の当局間でビデオ会議が実施され、陸路(バス)でのホンジュラス人の本国送還に関するガイドラインが設けられた。

本国に戻るホンジュラス人は、国内の帰還移民支援センター(CAMR : Los Centros de Atención al Migrante Retornado)において、帰国関連の手続きや、医療・栄養面でのケアの他、社会復帰や就労に向けた支援などを受けられることになっている。

3月22日以降、1万624名のホンジュラス人が合計79の航空便によって帰国を果たし、その後はホンジュラス保健当局の定める防疫ガイドラインに沿った対応を受けている。

番号 116 メキシコ・ホンジュラス

Voz de America (地域国際紙) (2020年10月22日付)「**Honduras reanuda el retorno de migrantes procedentes de México por tierra**」

場所 URL

<https://www.voanoticias.com/centroamerica/honduras-recibe-primeros-migrantes-retornados-por-tierra-desde-mexico#:~:text=Honduras%20reanuda%20el%20retorno%20de%20migrantes%20procedentes%20de%20M%C3%A9xico%20por%20tierra,-La%20canciller%C3%ADa%20hondure%C3%B1a&text=Los%20gobiernos%20de%20M%C3%A9xico%2C%20Honduras,Honduras%20con%20el%20resto%20Centroam%C3%A9rica.>

要約

10月22日、ホンジュラス外務省は、メキシコからバスによる陸路で送還されたホンジュラス人183名の帰国を確認したことを発表した。同措置は、グアテマラも含めた3国間の連携により実施された。同省によるとホンジュラスが陸路での国境の開放を再開したことを受けて、当分は週に25台のペースでバスによるホンジュラス人(1千名ほどが対象)の送還が実施される見込みであることも明らかにした。また、現在はメキシコでの監視強化に伴い、ホンジュラス人移民による米国国境への到達は大変困難であるとし、本国に帰国することが最も安全策であることを強調した。

番号 117 コスタリカ

Delfino(コスタリカ紙)(2020年10月22日付)「**Costa Rica elimina requisito de prueba PCR negativa y orden sanitaria para quienes ingresen al país**」

場所 URL

<https://delfino.cr/2020/10/costa-rica-elimina-requisito-de-prueba-pcr-negativa-y-orden-sanitaria-para-quienes-ingresen-al-pais>

要約

10月22日、コスタリカ政府は同月26日より外国人観光客による入国の際に、PCR検査の結果の提示及び一定期間の隔離の実施を義務付けない方針を発表した。同様に、コスタリカ人及び同国での在留資格保有者の入国時にも今回の規制緩和が適用されることも明らかにした。

コスタリカ政府は今回の判断につき、去る10月9日に米州保健機構(PAHO)の発表した報告書の内容に基づくものであるとした。

他方、外国人観光客に関しては、入国前に同国保健省のサイト内の特別な問診票(Pase de Salud)への回答と、引き続きコスタリカ国内で感染が確認された場合の治療や滞在期間の延長を想定した保険への加入を求めていくことにしている。

同時に、空港などでは引き続き出入国者への最低限のモニタリング体制(新型コロナウイルス感染に特有の症状の有無や、入国後14日間の健康状態の確認など)を維持していくことも併せて発表した。

番号 118 コスタリカ

La Prensa(ニカラグア紙)(2020年10月26日付)「**Se abre posibilidad para que más de 30 mil nicaragüenses puedan viajar a Costa Rica**」

場所 URL

<https://www.laprensa.com.ni/2020/10/26/economia/2738744-se-abre-posibilidad-para-que-mas-de-30-mil-nicaraguenses-puedan-viajar-a-costa-rica#:~:text=LP%20te%20explica-,Se%20abre%20posibilidad%20para%20que%20m%C3%A1s%20de%2030,puedan%20viajar%20a%20Costa%20Rica&text=Mediante%20un%20comunicado%20C>

[%20el%20Icafe、en%20la%20recolecci%C3%B3n%20del%20caf%C3%A9.](#)

要約

10月26日、コスタリカ・コーヒー協会(ICAFE)は、国内のコーヒー農園での収穫作業に従事するニカラグア人の入国開始が、11月1日から開始される見込みであることを明らかにした。現時点では、11月1日からのニカラグア人による入国再開は大規模なものではなく、実験的な性格が強いとされている。これまでのコーヒー協会と関係政府機関の合意によると、コスタリカでの農作業などの活動に従事するニカラグア人について、コスタリカの雇用主は事前に就労希望者の身分照会と正式な契約締結をする必要があり、就労者は入国直前に国境でのPCR検査の実施と、入国後は保健当局の監視下で14日間の隔離が義務付けられることになっている。ただし、国境での検査で陽性反応が出てしまったニカラグア人の取り扱い、そのコスタリカ入国及びニカラグアへの帰国時のPCR検査費用の負担者などについての詳細は明らかにされていない。同協会によると、今後関係者間の協議を通じて詳細が決定されていくことになっている。

他方、国内での新型コロナウイルス感染拡大によるコスタリカ人の失業率の悪化により、コーヒー協会の発表によると、現在1.6万人近くのコスタリカ人がコーヒー収穫作業への従事を希望しているという。

また、コスタリカ移民局(DGME)によると、国境閉鎖に伴う国内の農牧畜産業での人手不足を受けて、同産業での就労を可能にするための滞在合法化を図る外国人が増加しつつあり、10月14日時点でその申請件数は1.2万を超えているという。

番号 119 コスタリカ

Radio Television Marti(キューバ紙)(2020年10月26日付)「**“Agua y lodo es lo que tenemos”、 decenas de migrantes cubanos atrapados en Costa Rica**」

場所 URL

<https://www.radiotelevisionmarti.com/a/agua-y-lodo-es-lo-que-tenemos-decenas-de-cubanos-atrapados-en-costa-rica/276474.html>

要約

コスタリカ国内の北部、ニカラグアとの国境付近位置するラ・クルスにおいて、50名近くのキューバ人移民が劣悪な環境下での滞留を余儀なくされている。その中には妊婦や未成年者も含まれている。彼らは今年8月にコスタリカ国内で確認された、コロナ禍でも米国を目指そうとする約400名のキューバ人の一部である。

隣国ニカラグアは依然として国境を閉鎖しており、PCR検査での陰性証明をできる場合のみ特別に入国を許可している。しかしその費用は各個人の負担となっている。

コスタリカ政府は、これまでのキューバ人移民に対する伝統的な対応と同様に、彼らが犯罪などを行わない限り本国への送還はせず、当分は国内待機を要請する方針を示している。

しかし、滞留中のキューバ人からは、コスタリカ政府機関や国連難民高等弁務官事務所

(UNHCR)関係者が彼らを積極的に支援する姿勢を見せていないことへの不満の声が上がっている。

彼らの滞在地には、医師 1 名と、2 台の救急車と数名の救急隊員が赤十字によって午前 7 時から午後 4 時の間に配備されているほか、日に 3 度の食事も提供されている。しかし、大半のキューバ人が既に移動したことを受け、赤十字による支援も 10 月 30 日までとされていることが、一部妊娠中のキューバ人移民などにとって懸念材料となっている。

コスタリカの国連難民高等弁務官事務所支所によると、2020 年の年始以降、コスタリカ国内で確認された新たなキューバ人移民の数は 1 千名を超えている。

番号 120	グアテマラ・ホンジュラス
Estrategia y Negocios(国際紙)(2020 年 10 月 29 日付)「 Guatemala y Honduras preparan plan para contener caravanas migrantes 」	
場所 URL https://www.estrategiaynegocios.net/lasclavesdeldia/1418915-330/guatemala-y-honduras-preparan-plan-para-contener-caravanas-migrantes	
要約 10 月末から 11 月初旬にかけて、再び別の移民キャラバンがホンジュラスで発生しグアテマラに向かう可能性があることから、両国の連携を通じた対応が求められている。 10 月 26 日、グアテマラ及びホンジュラスの政府関係者はグアテマラ国内のプエルト・バリオで会合を開き、10 月から 11 月にかけて発生が予測されている移民キャラバンの規模の最小化を図るための協議を実施した。 両国は特に、キャラバンの発生による新型コロナウイルスの感染拡大を懸念している。 これまでのところ関係当局は、既存の制度が保障する人々による移動の権利を尊重する一方で、その移動を適切な管理下に置くことで調整を試みている。 10 月初旬のホンジュラス人を中心とした移民キャラバンの発生の際に得た経験を基に、ホンジュラス政府は主要通過点における監視所の設置などに努める予定。 他方、グアテマラ側も国境に特に児童含むより移動の際に危険の伴う人々への保護に重点を置いた施設を設置する予定を明らかにしている。 9 月 18 日のグアテマラによる国境開放の再開以降、既に 4 千名を超えるホンジュラス人がグアテマラに入国したとされている。しかし、その多くが、グアテマラ政府が入国時の条件として 11 歳以上の全ての入国希望者に求めている「72 時間以内の新型コロナウイルスへの感染確認検査実施と陰性証明」を行わずに、不法に入国を実施したとみられている。 アレハンドロ・ジャマティ・グアテマラ大統領は同事態を受け、危機回避宣言を発して不法入国者を中心としたキャラバンの制止と、国外追放(ホンジュラスへの帰国)を促進させた。 ホンジュラスの人道支援団体からは、移民キャラバンの抑止だけを目的とするのではな	

く、彼らが国外へ移動しなくてはならない貧困や治安問題への包括的な取り組みが必要であると訴えている。特にこれらの移住要因はコロナ禍で悪化しているとされている。

現在、ホンジュラスは人間開発指数ランキングにおいて 189 か国中 132 位に位置し、国民の約 61.9%が貧困に、同様に 17.2%が極貧にあえいでいるとされている(中米内で最悪の数値)。

番号 121 パナマ・コロンビア

Telemetro(パナマ紙)(2020 年 10 月 31 日付)「**Panamá y Colombia abordaron sobre flujo de migrantes durante pandemia**」

場所 URL

<https://www.telemetro.com/nacionales/2020/10/31/panama-colombia-abordaron-flujo-migrantes/3408513.html>

要約

パナマ及びコロンビアの衛生及び治安当局は、関係者間のビデオ会議を実施、コロナ禍の各国による国境閉鎖措置にも関わらずとどまらない域内の人口移動問題に関する意見交換を行った。

パナマ当局は 2020 年 9 月に 462 名、同じく 10 月に 554 名の移民によるコロンビアからの入国を確認した。

同会議では、今後同様の会議が実施される際の、ニカラグア、コスタリカ、エクアドル政府の関係者の出席が提案された。

番号 122 パナマ

Prensa Latina(キューバ紙)(2020 年 11 月 1 日付)「**Continúa arribo de migrantes ilegales a Panamá pese a pandemia**」

場所 URL

<https://www.prensa-latina.cu/index.php?o=rn&id=408019&SEO=continua-arribo-de-migrantes-ilegales-a-panama-pese-a-pandemia>

要約

新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての国境管理の厳格化にもかかわらず、2020 年 9 月から 10 月にかけてコロンビアからパナマに不法に入国した移民の数は 1,016 名に達した。

パナマ公安省によると、不法入国が確認された移民全員が、現在は国境付近の保護施設に収容されていることを明らかにした。

パナマとコロンビアの保健当局は、今後域内の人口移動に伴う感染拡大の懸念に対処していくため、ニカラグア、コスタリカ、エクアドルの各国の保健当局も交えたバーチャル会合の実施を検討している。

パナマ当局によると、不法入国を試みる移民の出身地はハイチを筆頭に、チリ、ブラジ

ル、インド、エクアドル、ギニア、パキスタン、アンゴラ、スリランカなど多様で、多くは米国への移住を試みようとしている。現時点でパナマ国内には同様に滞留を余儀なくされている移民の数が 2,600 名に達しており、その一部の新型コロナウイルスへの感染が確認されている。

番号 123 コスタリカ
El País (コスタリカ紙)(2020 年 11 月 1 日付)「 Costa Rica habilita ingreso de extranjeros residentes por fronteras terrestres 」
場所 URL https://www.elpais.cr/2020/11/01/costa-rica-habilita-ingreso-de-extranjeros-residentes-por-fronteras-terrestres/
要約 11 月 1 日より、コスタリカでの在留資格を保有する外国人による陸路でのコスタリカ入国が可能になった。その入国条件としてコスタリカ政府は、コスタリカ社会保険庁または保険機関監督局が承認する民間保険会社の提供する、新型コロナウイルスへの感染した場合の治療費なども想定されている保険への加入証明が必要となる。また、入国後には 14 日間の自主隔離が義務付けられる。 同時に国際的な陸路の交通サービスも再開されるが、当面はコスタリカへの入国が許可される人々(コスタリカ人又は在留資格保有者)による利用のみとなっている。 11 月 1 日時点で、外国人観光客によるコスタリカへの入国は空路及び海路のみ許可されている。空路での入国の場合、新型コロナウイルスへの感染確認検査の実施による陰性証明の提示が既に義務ではなくなっているが、観光客に関しては新型コロナウイルスへの感染を想定した特別な保険への加入が義務付けられている。他方、コスタリカ在住者の場合は、社会保障費の納付証明、または未納の場合には一定期間の納付を条件に入国が許可される。

番号 124 コスタリカ・ニカラグア
Clarín(国際紙:EFE 通信キャリー記事)(2020 年 11 月 6 日付)「 Costa Rica y Nicaragua analizan ingreso temporal de trabajadores agrícolas 」
場所 URL https://www.clarin.com/agencias/efe-cost-rica-nicaragua-analizan-ingreso-temporal-trabajadores-agricolas_0_Z0yj-S6Ya.html
要約 11 月 6 日、コスタリカとニカラグアの政府関係者は国境付近に位置するニカラグアのリバス市において、今後コスタリカでコーヒー収穫の最盛期を迎えるにあたり、同国で一時的に農作業に従事する予定のニカラグア人のコスタリカ入国時の取り扱い(衛生管理などについて)に関する協議を実施した。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、今季のニカ

ラグア人によるコスタリカへの入国の際には、入国時及び衛生面での管理が徹底されることになっている。

今回の 2 国間会合は、3 月に実施されたものに次いで第 2 回目にあたり、今回はその他にニカラグア人のコスタリカ滞在中の労働者としての権利や、社会的及び就労面での安全保障などについても議題に上がったとされている。

番号 125 コスタリカ

EFE 通信(2020 年 11 月 7 日付)「**Nicaragua y Costa Rica firman un acuerdo laboral para más de 20.000 trabajadores**」

場所 URL

<https://www.efecom.com/efe/america/economia/nicaragua-y-costa-rica-firman-un-acuerdo-laboral-para-mas-de-20-000-trabajadores/20000011-4388283>

要約

11 月 6 日、ニカラグア及びコスタリカの両国は、2 万人を超えるニカラグア人がコスタリカの農園で季節労働者として一時的就労することを可能にするための二国間協定に署名した。

ニカラグア政府は同協定により、コロナ禍においてもニカラグア人労働者の両国間の往来の際の健康が法的に守られるとの認識を示した。

同協定は「コスタリカにおけるニカラグア人労働者の一時的就労契約にかかる法整備に関する二国間協定(Convenio binacional para regular la contratación temporal de trabajadores nicaragüenses en Costa Rica)」と呼ばれている。

コスタリカ政府側も、同二国間協定により、ニカラグア人による往来と滞在期間中に、彼らの健康面だけでなく、人権、労働者としての権利、社会的そして衛生面での安全が保障されるとした。

ニカラグア人季節労働者は今後数週間中にコスタリカに入国し、来年上半期のコーヒー収穫の終了する時期あたりまで同国での滞在が予定されている。

番号 126 コスタリカ

Diario Las Americas(地域国際紙)(2020 年 11 月 12 日付)「**Costa Rica ofrece estatus de protección a cubanos, venezolanos y nicaraguenses**」

場所 URL

<https://www.diariolasamericas.com/america-latina/costa-rica-ofrece-estatus-proteccion-cubanos-venezolanos-y-nicaraguenses-n4210375>

要約

11 月 12 日、コスタリカ政府は国内に滞留している一部のベネズエラ人、キューバ人及びニカラグア人を対象に、有効期間 2 年の「特別一時保護資格(la Categoría Especial de

Protección Temporal Complementaria)」を与えることを決定した。

コスタリカ政府は今回の判断の理由として、これらの国々からの移民による難民申請の増加のほか、その出身国における危機的な社会情勢や、新型コロナウイルスの感染拡大の影響(コスタリカからの国境を越えた移動が困難)などを挙げた。

同資格により、対象者はコスタリカ国内で合法的に滞在できるようになり、就労も許可される。同措置は、特に難民申請が却下された人々の救済策としての性格を持つ。

今回の特別措置の対象となった3カ国の出身者は、この数年間のコスタリカでの難民申請者に占める割合が大きい。

番号 127 パナマ

Los Venezolanos Panamá (パナマ紙)(2020 年 11 月 13 日付)「**Migración Panamá extiende vigencia de permisos de residencia de extranjeros**」

場所 URL

<http://elvenezolano.com.pa/migracion-panama-extiende-vigencia-de-permisos-de-residencia-de-extranjeros/>

要約

パナマ移民局(SNM)は、2020 年 3 月 13 日以降に期限が切れるパナマ国内での在留資格保有者の資格有効期間を、2021 年 1 月 31 日まで延長する措置を講じることを発表した。同措置に伴い、現在国外に滞在しているパナマでの永住資格保有者も、たとえ滞在先で 2021 年 1 月 31 日までに現在の資格の更新期限を迎えても罰則の対象にはならない。

今回の決定は、パナマ含む多くの国々が依然として新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として厳格な国境管理を実施している状況を鑑みてなされた。

番号 128 ニカラグア

Voz de America(地域国際紙)(2020 年 11 月 13 日付)「**Nicaragua: medidas del gobierno ahuyentan a aerolíneas internacionales**」

場所 URL

<https://www.voanoticias.com/centroamerica/nicaragua-medidas-del-gobierno-ahuyentan-aerolineas-internacionales>

要約

11 月 13 日時点で、少なくとも 3 つの航空会社(アエロ・メヒコ、コパ・エアラインズ、ユナイテッド・エアラインズ)が、ニカラグア政府の求める同国での航空便の運航再開のための条件が厳しすぎるとして、早期の業務再開の可能性を否定している。同 3 社は、現段階では 2021 年 1 月まで運航再開を見合わせることを明らかにしている。

ダニエル・オルテガ政権による、国内での新型コロナウイルスの感染対策の不透明さには国内外から非難の声が上がっており、特に影響を受けている観光業界も、ニカラグアでの国際便の運航再開が遅れているのは政府の責任に他ならないとしている。

ニカラグア政府は、同国での航空便の運航再開をする場合、各航空会社に全乗客及び搭乗員の新型コロナウイルスへの感染の陰性証明書の写しの回収と保健当局への提出、そして運航される航空機体に関する情報(一般的にチャーター便以外では同情報の開示は必要とされない)の報告などを義務付けており、これらの措置は既に国際便の運航再開を果たしている周辺国では適用されていない。

11月13日時点で、運航再開に関する方針を明らかにしていないのはアメリカン・エアラインズとスピリットの2社となっているが、前述の3社と同様の決定をする可能性が高いとみられている。これまでのところ、唯一運航再開のための条件を受け入れているのはコロンビア系のアビアンカ航空のみとなっている。

番号 129	キューバ
Diario de Cuba(キューバ紙)(2020年11月14日付)「 El Gobierno está empujando a una emigración masiva en cuanto abra la frontera 」	
場所 URL https://diariodecuba.com/cuba/1605341987_26461.html	
要約 11月15日、キューバの首都ハバナに位置する国内最大の国際空港であるホセ・マルティ空港は、今年3月24日からの同国による新型コロナウイルス感染対策としての国境閉鎖措置の実施以来、約8カ月ぶりの運営再開を予定している。 それに伴い、国境閉鎖中に国外への移住を試みることができなかったキューバ人による、国外への大量流出が起きる可能性が懸念されている。同国経済や金融活動は、従来からの物資不足や送金業者への制限などに加え、現在は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、一層の悪化が進行しており、政府による対応への不満から、多くの国民が既に同国を見限っているとされている。	

番号 130	ニカラグア
スペイン語版ヤフーニュース(国際紙：EFE 通信キャリー記事)(2020年11月15日付)「 Unos 68.199 nicaragüenses han retornado a su país en medio de la pandemia 」	
場所 URL https://es-us.noticias.yahoo.com/68-199-nicarag%C3%BCenses-retornado-pa%C3%ADs-191728600.html	
要約 2019年11月14日時点でのニカラグア政府による公式発表によると、同年3月11日にWHOが新型コロナウイルスの感染拡大を「パンデミック」と認定して以降、世界各地からニカラグアに帰国を果たした人々の総数は6万8,199名に達している。 これは同国の総人口の約1%に相当する。 ニカラグア政府は6月以降、新型コロナウイルスの感染拡大検査の実施と陰性証明を条件に、邦人の帰国を再開させている。しかし、検査費用は自己負担としているために、	

多くの移民が滞留していた国や人道支援団体の援助を受けて検査を実施してきた。

11月14日時点で、同国政府は国内での感染者数は5,661名、死亡者数は158名としているが、医療機関などと連携している市民団体による独自調査では感染の疑いがある人々の数が1万1,092名、死亡者に至っては2,789名とされている。

世界保健機関(WHO)や国連人権高等弁務官事務所(OHCHR)は、ニカラグア国奈の実際の感染状況が不明なことについて懸念を表明している。

番号 131 コスタリカ

CR Hoy(コスタリカ紙)(2020年11月16日付)「**Ubican a 38 migrantes irregulares en frontera con Panamá**」

場所 URL

<https://www.crhoy.com/nacionales/ubican-a-38-migrantes-irregulares-en-frontera-con-panama/>

11月16日、コスタリカ治安当局は新たな情報としてパナマとの国境に位置するパソ・カノーアスでハイチ人含む不法滞在者38名を、さらに太平洋岸に位置するラ・パルマ・デ・ゴルフ市において同様に不法に入国していた16名のガーナ人を拘束したことを明らかにした。一連の不法移民は、国境の死角を通過してコスタリカに入国していたとされている。

治安当局は、新型コロナウイルスの感染拡大により人の移動が困難化する中、コスタリカ国内で彼らの移動を幫助する違法業者が増加していると指摘している。

番号 132 コスタリカ

Delfino.com(コスタリカ紙)(2020年11月18日付)「**MOPT mantuvo en vilo a extranjeros hasta la última hora**」

場所 URL

<https://delfino.cr/2020/11/mopt-mantuvo-en-vilo-a-extranjeros-hasta-la-ultima-hora>

要約

コスタリカ国内で新型コロナウイルスの感染拡大が始まって以降、運転免許証の発行などを管轄する公共事業・運輸省(MOPT)は、それらの証明書の有効期限の延期措置が、移民局(DGME)による外国人を対象とした国内滞在期間の延期措置(ビザの有効期間の延長)と一致するように努めている。

直近では、移民局が2021年3月2日まであらゆるビザの有効期間を延長したのに合わせ、同様の決定に至るまで時間を要したものの(事前のコスタリカの国境の再解放を受けて、当初11月18日としていた期限を2021年3月2日に変更すると決定したのが11月4日、その公式発表が17日)、公共事業・運輸省も足並みをそろえた。

今回、同省の判断に遅れた要因の一つは、一般的にコスタリカ国内では外国人が在留資格を得るまでに1年以上を要するケースが多々あり、その申請中に申請者は国内

にとどまることはできるが、運転免許証に関しては「在留資格保有者」ではないため、最大 90 日間までの滞在が許可される観光客としての入国を頻繁に繰り返すことで更新を実施しなくてはならないという不便な実態の存在を過少に見積もっていたこと。現在、新型コロナウイルスの感染拡大が国境間の移動を不可能又は可能であっても厳格な制限が設けられている中、頻繁な出入国は容易ではない。

しかし、延期の発表が当初の期日(11 月 18 日)の直前だったことから、影響を受ける人々の間で混乱が生じた(当初、公共事業・運輸省は、事前のコスタリカの国境開放の再開と同時に、移民局との対応一致は不要になったと説明していた)。

番号 133 コスタリカ
Ameriarueda(地域国際紙)(2020 年 11 月 18 日付)「 Crisis en Irak y pandemia impiden a Costa Rica expulsar a supuesto miembro de Estado Islámico 」
場所 URL https://www.ameliarueda.com/nota/irak-pandemia-impiden-expulsar-supuesto-terrorista-noticias-costa-rica
要約 2019 年 11 月 1 日に発生したイラクの反政府デモと、その後の世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に伴う空路での国際移動に課せられる条件の厳格化により、コスタリカは昨年 6 月に隣国ニカラグアへの入国を試みた際に米国国防省の情報を基にイスラム国のメンバーでテロリストの疑いのあることが発覚した 30 歳のイラク人男性の強制送還を実行できずにいる。同人物は、その他に同じイラク人男性 1 名とエジプト人男性 2 名と共に、ニカラグア当局により入国を拒否され、コスタリカにおいて拘束されていた。 コスタリカでは 2019 年 6 月以降にこれら拘束者の強制送還に係る手続きが進められており、その他 3 名に関しては既に本国へ送還されている。残り 1 名のみ、イラク国内の情勢や、コスタリカが国内にイラクの在外公館を持たないことなどから、強制送還の手続きに遅れが生じていた。現在はそこにさらに新型コロナウイルスの感染拡大も影響している状況にある。 現在、同人物は、数か月間不法滞在外国人を対象とした拘留施設に置かれた後、定期的に移民警察(PPM)のもとで署名を行うことを条件に保釈されている。コスタリカ政府は、あくまでも同人物がイスラム国のメンバー及びテロリストの疑いがあるだけで、その確たる証拠はないとしつつも、新型コロナウイルスの感染拡大による国際移動の制限が緩和された際には、不法滞在者の一人として強制送還を実施するとの姿勢を示している。

番号 134 コスタリカ
El Mundo (コスタリカ紙)(2020 年 11 月 19 日付)「 Carmen Chan impulsa propuesta para atracción de turismo chino 」
場所 URL

<https://www.elmundo.cr/costa-rica/carmen-chan-impulsa-propuesta-para-atraccion-de-turismo-chino/>

要約

コスタリカのカルメン・チャン国会議員は、駐コスタリカ中国大使や国内観光業界関係者とビデオ会談を実施し、今後中国人による同国訪問を促進させるためのビザ取得要件の緩和や、直行便も含めた空路でのコネクションの増強などについて協議した。同議員や国内観光関係者は、国内観光業が新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受けている中、空路での国境開放の再開を活かすために、依然として成長の余地がある中国市場にアプローチする必要性を訴えている。今回、駐コスタリカ中国大使も、中国もコスタリカへの観光促進に向けて協力を惜しまないとの姿勢を示した。

世界観光機関(UNWTO)の試算によると、コスタリカは中国から 15 万人近い観光客を呼び込む潜在的な可能性を有しているとされている。

番号 135 コスタリカ

Diario Libre(地域国際紙: EFE 通信キャリー記事)(2020 年 11 月 20 日付)「**Informe señala la vulnerabilidad de los nicaragüenses que huyen a Costa Rica**」

場所 URL

<https://www.diariolibre.com/actualidad/internacional/informe-senala-la-vulnerabilidad-de-los-nicaraguenses-que-huyen-a-costa-rica-KK22822459>

要約

11 月 20 日コスタリカのアリアス平和財団は、同国内のニカラグア人移民が置かれている状況に関する報告書を発表した。

それによると、ニカラグアでの社会経済状況が悪化し始めた 2018 年 4 月以降にコスタリカ国内で難民申請を行ったニカラグア人は 8 万人を超えている。

同報告書内では、コスタリカに不法入国を試みるニカラグア人の抱える従来のリスク(犯罪の対象となるなど)だけでなく、新型コロナウイルスの感染拡大がコスタリカ国内でも収束しないなかでニカラグア人がこれまで以上に困窮状態にあることや、感染を持ち込んだとして差別を受けている現状について述べられ、その是正に向けての提案(積極的な難民認定など)が記載されている。

番号 136 パナマ・キューバ

Periódico Cubano(キューバ紙)(2020 年 11 月 20 日付)「**Cubanos con visas vencidas entre marzo y diciembre sí podrán ingresar a Panamá**」

場所 URL

<https://www.periodicocubano.com/cubanos-con-visas-vencidas-entre-marzo-y-diciembre-si-podran-ingresar-a-panama/>

要約

パナマ移民局(SNM)は 2019 年 3 月 13 日から 12 月 31 日までの期間に有効期限の切れる同国における観光ビザを保有している、パナマ国外にいるキューバ人に対し、その有効期間を 2021 年 1 月 31 日まで延長することを発表した。同観光ビザの有効期間の延長を求める人々はハバナのパナマ大使館での申請と承認印が必要となる。同手続きにおいて、既に 11 月から 12 月にかけてのパナマ訪問のための航空券を入手済みの人々が優先される。 在キューバ・パナマ大使館は、キューバ国内での新型コロナウイルスの感染拡大が始まった 3 月以降に一時機能を停止していたが、最近になって業務を段階的に再開していた。
--

番号 137	中米・メキシコ
Milenio(地域国際紙: EFE 通信キャリー記事)(2020 年 11 月 20 日付)「 En frontera sur de México, covid-19 agudizó crisis sanitaria en migrantes: ONU-DH 」	
場所 URL https://www.milenio.com/politica/covid-19-agudizo-crisis-sanitaria-migrantes-frontera-sur-onu	
要約 11 月 19 日、メキシコの市民団体「人間開発のためのイニシアティブ(Iniciativa para el Desarrollo Humano)」の代表者は国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)のメキシコ及び中米諸国の代表らとの会合を実施し、その場で発表された報告書内で、域内の人口移動問題に対して包括的に臨むことと、そのために関係国の官民双方の連携、そして移民問題の取り扱いへの経験に乏しい各地の治安当局に対する移民を巡る実態把握(道中の犯罪の対象となるなど)のための研修の必要性が確認された。 国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)のメキシコ代表は、現在のパンデミックがメキシコ及び中米内の格差の拡大と、特にメキシコの南部国境付近の移民の置かれている衛生環境をより危うくしているとの見解を示した。	

番号 138	コスタリカ
Confidencial (ニカラグア紙)(2020 年 11 月 21 日付)「 Traficantes de migrantes se alían con militares nicas y policías ticos en frontera entre Nicaragua y Costa Rica 」	
場所 URL https://confidencial.com.ni/traficantes-de-migrantes-se-alian-con-militares-nicas-y-policias-ticos-en-frontera-entre-nicaragua-y-costa-rica/	
要約 コスタリカのアリアス平和財団が独自に実施した調査によると、現在新型コロナウイルスの感染拡大防止のための管理が厳格されているコスタリカとニカラグアの国境付近において、不法にコスタリカへの入国を試みるニカラグア人の使用する主要なルートやその際に直面する危険、そして密入国斡旋業者が一部のニカラグア軍やコスタリカの治安当局	

関係者と共謀して密入国を幫助している実態が明らかになった。

「ニカラグアの国外避難の実態：追放と弱者化(Las Caras del Exilio Nicaragüense: Expulsados y Vulnerabilizados)」と称する調査は、2020年3月から8月にかけて同財団により実施された。その報告によると、調査を通じて51の不法入国に使われている国境沿いの「死角ルート」が確認された。また、コロナ禍での厳格な国境管理により、一日の不法入国者は平常時の平均500人の1割程度にとどまっている。

密入国斡旋業者も暗躍しており、陸路での密入国幫助の対価は時期により33米ドルから250米ドルが相場となっており、移動ルートに海路が含まれることもある。また、一部の斡旋業者はニカラグア軍又はコスタリカの治安当局関係者に、賄賂の見返りとして情報提供などを受けている実態も明らかとなった。

同報告において、例えニカラグア人が密入国を果たしたとしても、当局による拘束や強制送還、犯罪集団による搾取や誘拐、新型コロナウイルス含む危険な疫病への感染といったリスクにも晒されていることも言及された。

番号 139 コスタリカ

Diario Las Americas(地域国際紙:AFP 通信キャリー記事)(2020年11月25日付)「**Costa Rica ofrecerá "ingreso seguro" a nicaragüenses que buscan asilo**」

場所 URL

<https://www.diariolasamericas.com/america-latina/costa-rica-ofrecera-ingreso-seguro-nicaraguenses-que-buscan-asilo-n4211247>

要約

11月25日、コスタリカ政府は、国連とEUとの連携を通じて、コスタリカへの避難を求める(難民申請者含む)ニカラグア人の安全保障と管理を促進するための枠組の導入計画があることを明らかにした。

同枠組は、現在新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として閉鎖されているコスタリカとニカラグア間の陸路の国境が再び解放された際に導入予定。

同計画に用いられる予定の資金は120万ユーロ(約143万米ドル)で、その大半をEUが拠出する予定となっている。

コスタリカには2018年のニカラグア国内の反政府運動の勃発以降、約8.1万人のニカラグア人が避難しており、今回検討されている枠組は同問題への市民社会の参画を拡大させる目的も有している。

番号 140 中米

hosteltur(旅行業界紙)(2020年11月27日付)「**Estos son los requisitos para volar a Centroamérica y República Dominicana**」

場所 URL

https://www.hosteltur.com/comunidad/nota/024410_estos-son-los-requisitos-para-vola

要約

中米及びドミニカ共和国(SICA：中米統合機構加盟国)は段階的な国境開放を再開したが、2020年11月27日時点で各国が適用している新型コロナウイルス感染防止のための入国条件は以下の様にそれぞれ異なる。

・ベリーズ

同国独自のアプリケーション「ベリーズ健康(Belize Health)」のダウンロード。

同国出発前の指定のフォーマットへの情報の入力とその後のQRコードの取得(同コードにより、訪問者は滞在期間中に当局によりモニタリングされる)。

出発前72時間以内のPCR検査の実施とその陰性証明(実施せずに到着した場合、空港で簡易検査が義務付けられ、陽性反応が出た場合は指定のホテルで14日間の隔離実施)。

・グアテマラ

旅客機搭乗前の72時間以内のPCR検査の実施とその陰性証明。それをせずに入国を試みた場合は、現地保健当局の監視下での14日間の隔離が義務付けられる。

空港内ではソーシャルディスタンスの確保、マスクの着用、消毒液の使用、検温ゲートの通過などが義務付けられる。

・コスタリカ

2020年10月26日以降、コスタリカは外国人観光客に対してPCR検査による陰性証明の取得を義務付けなくなった。

旅客機への搭乗前の48時間以内に健康パス(Pase de Salud)と称されるウェブサイト上のフォーマットへの記入が必要。

新型コロナウイルスに感染した場合の滞在や医療サービスに要する費用をカバーするための、コスタリカ国内又は国際的な保険への加入が必須。

・ホンジュラス

旅客への搭乗72時間前までのPCR検査の実施と陰性証明。

搭乗数時間前の入国のための簡易健診。

・ニカラグア

入国前の72時間以内のPCR検査の実施と陰性証明(アジア・オセアニア・アフリカ諸国からの旅客の場合は96時間以内)。

入国後14日間は、現地の保健当局から毎身体調に関する電話での問い合わせが実施される。

・エルサルバドル

旅客機搭乗前の 72 時間以内の PCR 検査の実施とその陰性証明と到着後の検温が必須
同国滞在中に感染疑いが発生した場合のホットライン(電話)も開設。

・パナマ

旅客機搭乗の 48 時以内までの PCR 検査又は抗原検査の実施とその陰性証明の提出(もし 48 時間以内のモノでなかった場合は、入国者は空港での簡易検査を自費で実施し、陽性の場合は医療施設での隔離実施が義務付けられる)。

入国時に、パナマ政府の定める新型コロナウイルス感染防止ガイドラインの遵守と、滞在期間中に指定のアプリケーションによる現地保健当局によるモニタリング対象となることへの同意を表明するための署名が必須。

・ドミニカ共和国

入国のための検査は必須ではないが、入国者に対して抜き打ちで検査が行われる。

到着 72 時間目に新型コロナウイルス感染が疑われる症状が出ていないことと、滞在中の全滞在先情報の提供を行うことに関する誓約文への署名が必須。

また、2020 年 12 月 31 日までは、滞在期間中に新型コロナウイルスへの感染または感染者との接触が確認された場合に、ドミニカ共和国政府による無料の医療サービスを受けることができる。

番号 141 コスタリカ・米国
El Periódico (グアテマラ紙 : AFP 通信キャリー記事)(2020 年 11 月 30 日付)「 Costa Rica advierte a Biden que la pandemia y el clima aumentarán las migraciones 」
場所 URL https://elperiodico.com.gt/noticias/internacionales/2020/11/30/costa-rica-advierte-a-biden-que-la-pandemia-y-el-clima-aumentaran-las-migraciones/
要約 11 月 30 日、コスタリカのカルロス・アルバラード大統領はバイデン次期米大統領と電話会談を実施し、新型コロナウイルス感染拡大による経済的打撃や気候変動問題に対応していくために、多国間協力の構築を図るうえでリーダーシップを発揮するよう求めた。また、これらの問題が今後中米からの移民を増加させうるとも述べた。 会談中、アルバラード大統領はバイデン次期米大統領に対し、米国がその GDP の 0.7% に相当する資金を投じて、途上国が好条件で新型コロナウイルス関連問題に対処するための資金を調達できるような経済対策基金の創設の提案などを行った。